

移住・定住ガイドブック



ワオン! (みんなおいで!)

AKITA 移住サポート BOOK

2026

《2年間限定》秋田移住

ブーストキャンペーン実施中!



日本一
子どもが幸せな県
秋田

※「子どもの幸福感」ランキングより
(R8.4 日本経済新聞調べ)

いつか、と思っていた暮らしを、 秋田なら「今」すぐ。

満員電車での通勤、高い家賃、

子どもをのびのび遊ばせられないもどかしさ。

もし、その悩みをすべて解決できる場所があるとしたら？

令和8年度、秋田県はあなたの「新しい一歩」を

過去最大級の支援で後押しします。

**秋田移住で
最大110万円相当がもらえる！**

**秋田移住
ブーストキャンペーン**

秋田県はあなたの新生活を全力で応援します！



**2年間
限定**

秋田暮らし応援デジタル商品券

「あきた」
「A→KITA 登録」をした上で、令和8年4月1日以降に秋田県に移住した方へ、
県内で使えるデジタル商品券を支給します。

CONTENTS 目次

知る 準備・計画

- 4 支援パッケージ例 あなたならいくらもらえる？
- 5 支援制度紹介

暮らしを感じる イメージを膨らませる

- 6 データで見る！秋田暮らしの魅力
- 7 秋田の住宅事情
- 8 秋田の子育て環境
- 10 秋田の子育て支援情報
- 12 冬の暮らしガイド
- 14 移住者インタビュー

探す 移住先を決める

- 20 秋田県25市町村 GUIDE

動く 実行・相談

- 46 秋田で働く・事業サポート
- 47 就農したい人集まれ！
- 48 林業・漁業もサポート
- 49 地域おこし協力隊になる
- 50 相談窓口へ行く
- 51 イベントに参加する
- 52 よくある質問
- 53 秋田県エリアマップ
- 54 アクセスマップ

CHECK!!



秋田県のさまざまな支援制度に
ついては、別冊をご覧ください。

あなたの移住をサポート！

支援金組み合わせ例

ここに掲載している内容はあくまで一例となりますが、
複数の制度の組み合わせで、秋田移住を強力に支援します。

子育て世帯（夫婦＋子ども2人の4人家族）

移住支援金活用例 東京圏限定



18歳以下の子ども2人を含む4人家族で、東京圏からリモートワーク移住し、住宅リフォームを考えている方。

移住支援金

300万円

（子育て世帯加算含む）

住宅リフォーム支援

最大90万円

（18歳以下の子育て世帯への拡充枠）

リモートワーク支援

最大220万円



合計

最大610万円

子育て世帯（夫婦＋子ども2人の4人家族）

New

デジタル商品券活用例 全国対象



18歳以下の子ども2人を含む4人家族で、県外から移住し県内企業に就職、また住宅リフォームを考えている方。

New

デジタル商品券

最大110万円分



住宅リフォーム支援

最大90万円

（18歳以下の子育て世帯への拡充枠）



秋田県奨学金返還助成制度

最大60万円



合計

最大260万円＋α

point デジタル商品券は、夫婦のどちらかが秋田県移住・就職サイト「あきたジョブ」へ求人掲載した企業に就職した場合の10万円分の加算を含みます。夫婦ともに奨学金返還助成を受けることも可能で、その場合最大120万円の助成。

夫婦世帯例



どちらも39歳以下の夫婦で、県外から移住し、企業連携型奨学金返還助成制度の登録企業へ就職する方。

New

デジタル商品券

70万円分



あきた企業連携型奨学金返還助成制度

最大120万円



合計

最大190万円＋α

point 移住から2年以内に子どもが生まれた場合、さらに30万円分の商品券が加算されます。夫婦ともに企業連携型奨学金返還助成を受けることも可能で、その場合最大240万円の助成。

若者・単身例



39歳以下の単身で、県外から移住し起業予定、住宅リフォームを考えている方。

New

デジタル商品券

50万円分



住宅リフォーム支援

最大60万円



起業支援

最大150万円



合計

最大260万円＋α

point 移住から2年以内に婚姻した場合、さらに20万円分の商品券が加算されます。

各種助成には対象要件があります。一人ひとりに合った支援を提供！ まずは **あきた A→KITA 登録** を！

New!
2年間限定

秋田暮らし応援デジタル商品券

「あきた A→KITA 登録」をした上で令和8年4月1日以降に秋田県に移住した方へ、
県内で使えるデジタル商品券を交付します。

*「あきた A→KITA 登録」は県外から移住を希望する方を対象とした登録制度です。



助成額

- ① 子育て世帯 **100万円**
- ② 夫婦世帯（どちらも39歳以下） **70万円**
- ③ 単身世帯（39歳以下） **50万円**
- ④ ①～③以外の世帯 **10万円**

* 諸条件により、最大で合計 **110万円分**の支給となります。

対象者

- ☒ 秋田県外に継続して3年以上居住していた方
- ☒ 移住日までに **「あきた A→KITA 登録」**をされている方
- ☒ 令和8年4月1日以降に秋田県内へ移住（転入）された方*
* 県内市町村へ転入した日を移住日とします。市町村窓口へ届け出た日ではありません。
- ☒ 移住支援金を受給しない方*
* 移住支援金との併用はできません。

詳細はこちら



移住支援金

東京圏*から秋田県内へ移住し、一定の要件を満たした方に対して、移住支援金を支給します。
（本支援金は国の地方創生移住支援事業を活用したものです。） *東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

助成額

家族で移住 **100万円** / 単身で移住 **60万円**
（18歳未満の子ども一人あたり **100万円**を加算）

対象者

以下の要件を満たす方

- ☒ 住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上（直前の1年間は連続）、東京23区内に在住または東京圏*から23区内に通勤していた方
* 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
 - ☒ 秋田県へ移住してから1年以内の方
 - ☒ 移住先の市町村に5年以上居住する意思を持つ方
- ※ 他にも【就職に関わる要件】等あり

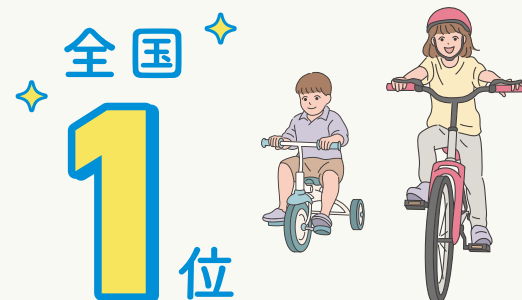
詳細はこちら



データで見る！ あきた暮らしの魅力

秋田はあらゆる面で、地方ならではの魅力が満載。
心と身体が満たされる「本当のゆとり」がここにあります。

治安の良い県



出典：HOMEALSOK 研究所「全国治安ランキング 2025」

刑法犯遭遇率の低さ第1位、刑法犯認知件数の少な
さ第3位で、安心安全に暮らせる環境が整っています。

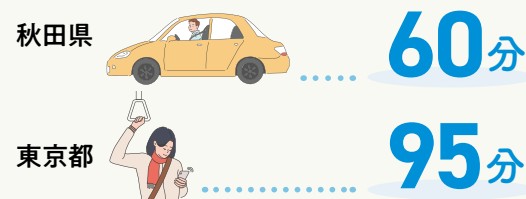
食料自給率



出典：農林水産省「都道府県別食料自給率」(令和5年度)

秋田県の食料自給率(カロリーベース)は約202%で、
北海道に次いで全国2位と非常に高い水準です。
地元の旬の食材がスーパーマーケットや産地直売所
に並んでいます。

通勤・通学時間



出典：総務省統計局
「社会生活基本調査からわかる47都道府県ランキング」(令和3年)

朝の満員電車や渋滞もほぼなく、余裕を持って通勤・
通学ができます。冬は積雪の影響で少し混雑しますが、ほとんどの人はその分早起きして調整しています。

子どもの幸福感



R8.4 日本経済新聞調べ

全国調査の分析で、秋田の子どもたちは「自己肯定感」や「将来の夢」、「思いやりの心」や「社会貢献への意欲」の4指標で全国トップに輝きました。豊かな自然と温かい地域社会に包まれ、自分に自信を持って未来へ羽ばたく心がすくすくと育つ環境がここにあります。

日本一、家を持ちやすい県

移住後の生活を考える上で、気になることのひとつが「住まい」。秋田は土地の価格が非常に手頃で、理想の注文住宅を建てたり、趣のある古民家をリノベーションしたりと、住まいの選択肢が広がります。

持ち家住宅率

持ち家の居住室の広さ

宅地平均価格

出典：総務省「住宅・土地統計調査」(令和5年)

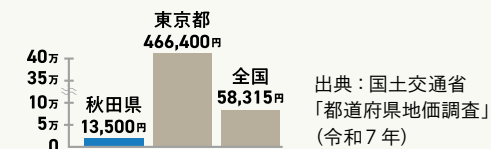
1人あたりの居住室の広さも
全国トップレベル！

宅地の平均価格が全国で一番安く、全国平均の3割以下。
持ち家住宅率に加えて1人あたりの居住室の広さも全国1位です。
広い庭や駐車場を持つことも夢ではありません。

全国 1位



[1㎡当たりの宅地平均価格]



秋田で叶える「広々とした住まい」と「ゆとりの子育て」

データで見る、東京と秋田の住宅事情

東京



総予算目安 約8,002万円

うち土地取得費 約4,269万円
うち建設費 約3,733万円
敷地面積(土地の広さ) 124.3㎡(約37.6坪)

秋田で家づくり
するメリット

- 少ない資金で広い土地と家入手可能！
- 浮いたお金は貯蓄や教育資金などライフスタイルに併せて活用できます。

秋田



総予算目安 約4,374万円

うち土地取得費 約702万円
うち建設費 約3,672万円
敷地面積(土地の広さ) 301.3㎡(約91.1坪)

土地代は
所要資金の2割以下

出典：住宅金融支援機構【フラット35】利用者調査(令和7年度)

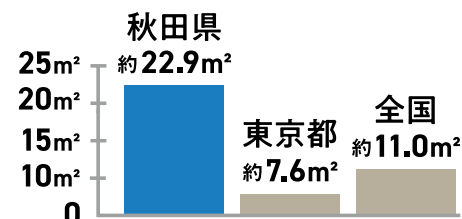
秋田で子育て

のびのび、すくすく、かしこく 秋田なら全部叶う！



のびのび すくすく

1人あたりの公園面積は
全国トップクラス！



出典：国土交通省「1人あたりの公園等面積」(令和6年度)

週末は、思いつきで海へ、山へ。四季の秋田で、一生の思い出を。

春



夏



秋



冬



かしこく

全国に誇る 秋田の教育！



「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)において、良好な状況が続いています。
なぜ、この結果を維持できるのか、その秘密に迫ります。

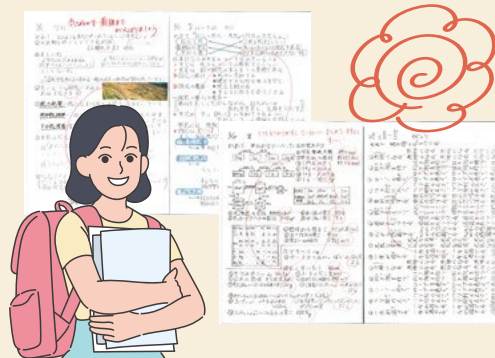
1. 一人ひとりが主役！子どもが伸びる「秋田の探究型授業」

秋田の「探究型授業」は、「見通しをもつ」「自分の考えをもつ」「話し合う」「振り返る」プロセスで自ら考える力を育みます。全国に先駆けた少人数教育で手厚くサポートし、一人ひとりの可能性を広げる質の高い学びを支えます。



対話を通じたより深い学びの実践

2. 自分で学ぶ力が自然と身につく！秋田ならではの「家庭学習」

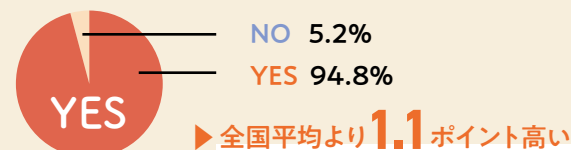


子どもが自らテーマを決めて取り組む「家庭学習」の習慣が秋田には根付いています。「今日は何を勉強しよう?」「こんなことを調べてみようかな?」と考える経験が、自立して学ぶ大きな力に。家庭では子どもの頑張りをあたたかく見守り、学校では先生が毎日ノートに目を通して丁寧なコメントを返します。家庭と学校が寄り添い、子どもの「やる気」と「やり抜く力」を育みます。

家庭と学校が一体になって子どもたちをサポート！

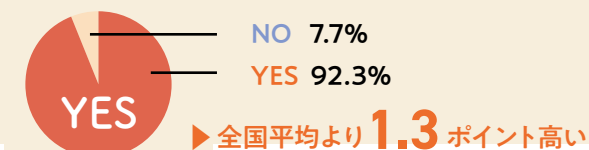
3. 規則正しい生活習慣が身に付く！

Q. 朝ごはんは毎日食べていますか？



朝ごはんを毎日食べている家庭が多い！

Q. 起床時間は毎日決まっていますか？



毎日、同じくらいの時間に起きる子どもが多い！

出典：秋田県教育委員会「全国学力・学習状況調査の結果について」(令和7年度)

秋田の教育や豊かな自然を実際に体感できる！

県内9市町村で「保育園留学」「教育留学」「地域みらい留学」を実施中

該当市町村はP20に掲載しています。詳しくは各市町村のHPをご確認ください。

秋田県の子育て支援は、全国トップクラス！

秋田県は、子育て世代へのサポートも万全です！

医療費助成や保育環境の充実など、パパ・ママの負担を減らし、安心して子育てができる環境が整っています。秋田が誇る支援制度をご覧ください。

すこやか子育て支援事業

国の独自支援（全国共通）



保育料

住民税非課税世帯
無料

第2子*：**半額**
第3子以降*：**無料**

*一定の要件に当てはまる場合

保育料

全ての世帯
無料

副食費（おかず等）
原則保護者負担

秋田県の独自支援



国の支援

+

保育料*

第1子：
所得に応じて助成
(1/2 or 1/4)
※所得制限あり

第2子以降：
全額助成

国の支援

+

副食費（おかず等）

第1子：
所得に応じて助成
(1/2 or 1/4)
※所得制限なし

第2子以降：
全額助成

*所得制限の目安
幼稚園：年収約680万円まで
保育所：年収約640万円まで

<モデルケース>

	家族構成	年収	対象児童	年間通常保育料	助成後の保護者負担額	年間お得額
①	父、母 第1子（小学生） 第2子（2歳）	約 680万円 市民税所得割 155千円程度	第2子（2歳）	464,640円	0円	464,640円 お得！ 第2子以降は 県で全額助成！
②	父、母 第1子（2歳） 第2子（0歳）	約 600万円 市民税所得割 147千円程度	第1子（2歳） 第2子（0歳）	406,800円 203,400円	305,100円 0円	305,100円 お得！ 県で第1子は1/4助成！ 第2子以降は全額助成！

*県内25市町村のうち19市町村では、さらに独自の支援により保育料、副食費が無料となります。（一部所得制限あり）
詳細は、各市町村にお問い合わせください。

福祉医療費助成事業（マル福）

所得制限なし！医療機関等の窓口で支払う医療費の自己負担分を助成します。

全額を助成

0歳児と市町村民税所得割
非課税世帯の子ども（18歳まで）

半額を助成

上記に該当しない子ども
（18歳まで）

*一医療機関1ヶ月あたりの自己負担額上限1,000円
*市町村によっては、助成内容の拡大など、独自の対応を行っている場合もあります。

連絡先

秋田県健康福祉部 健康づくり推進課 国保医療室
連絡先：☎ 018-860-1351



子育てファミリー支援事業

就学前の子どもを対象とした一時預かりなどの利用料

1世帯あたり：**15,000円**を助成

対象サービス

お住まいの市町村で実施している一時預かり、病児保育、ショートステイ、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センターなど



対象者

第3子以降の子どもが生まれた世帯における、就学前の子ども

*所得制限はありません。助成の対象となるサービスや手続きについては、お住まいの市町村の窓口にお問い合わせください。

秋田県では、子育て中の方やこれから子育てをする方に役立つ、県や市町村が実施する事業内容やイベント情報、子どもの遊び場情報などさまざまな情報を発信しています。

詳細はこちら



あきたの結婚・子育て応援情報Webサイト

いっしょにねっと。

県公式 Instagram

子育てに役立つ情報 総まとめ！

いっしょにこそだてあきた



詳細はこちら



知っておきたい! 雪国秋田 *Winter Living* 冬の暮らしガイド *Guide*

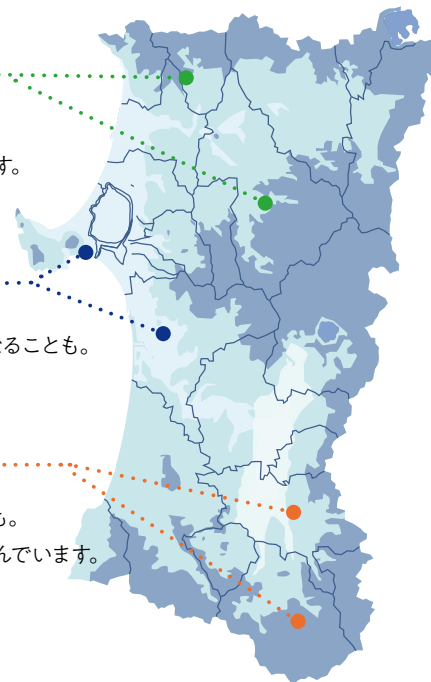
県内でも積雪量は大きく変わります!

おそらく多くの人が気になるのが「積雪量」ですね。秋田県は典型的な日本海型気候。冬は季節風が強く、降雪量が多くなりますが、エリアによって積雪量は全く異なります。毎日除雪が必要なわけではなく、穏やかな日もあります。

【車の埋もれ具合】

【雪の積雪量】

■ 少ない ■ ふつう ■ 多い



【山沿い】 藤里町・北秋田市など

樹氷で有名な森吉山や白神山地の麓など、山沿いは積雪が多い県南盆地よりも気温が低くなります。

積雪目安：北秋田市 約80cm
除雪が必要な期間：12月～3月上旬

【沿岸部】 男鹿市・秋田市など

潮風の影響で積雪量は少ないですが、凍結や吹雪になることも。

積雪目安：秋田市 約40cm
除雪が必要な期間：12月下旬～2月

【県南盆地】 横手市・湯沢市など

豪雪地帯で時には1階が埋まるほどの積雪になることも。その分、雪を流す「流雪溝」などのインフラ整備が進んでいます。

積雪目安：横手市 約1m20cm
除雪が必要な期間：12月～3月

降雪時の除雪
45分
程度



降雪時の除雪
30分
程度



降雪時の除雪
1時間
程度



コレはマスト!

雪対策必須アイテム



スノーブーツ、長ぐつ

雪かき用に長ぐつが1足あると便利です。積雪量が少ない地域は、足首くらいのハイカットブーツで対応できることもあります。



コート

歩いて外出するときは、撥水加工のアウトドアアイテムが便利です。子どもはジャンプスーツを着ることが多いです。



スコップ

1つは欲しいスコップ。数千円で購入できます。軽量、小型など種類が多数あるのでホームセンターで用途にあわせて相談しましょう!



冬タイヤ

雪の有無にかかわらず11月～3月の間は冬用タイヤを装着しましょう。カー用品店やガソリンスタンドでは、タイヤ交換を行ってくれます。

*いずれも秋ごろになればホームセンターやショッピングモールなどで手軽に手に入ります!

知っておこう雪の生活

雪道運転

路肩の雪で道幅も狭くなりいつも以上に安全運転が必須です。車間距離は普段の2倍、急ブレーキや急ハンドルは避けましょう。(市町村主催の雪道講習があることも!)

冬場は
通勤時間が増えます。

夏季で30分かかる場合

冬季は45分～

スタック*

スタックしたらみんなで助け合い! 寒くても、人との繋がりはあったかいんです。

*雪にタイヤがはまり空回りすること



雪道運転は夏よりも速度がゆっくり。雪かきの時間確保に加えて、子どもに着せるものが多くて時間がかかる場合もあるので、冬場は早起きです。

雪が降った翌朝は みんなで雪かき

朝や除雪車が通った後は皆で雪かき。ご近所さんとも自然に会話し、顔が見える生活ができます。

冬の暖房費は覚悟を決めて

エアコンを使うこともありますが、石油ストーブを使う人も多いです。足元から暖まります。

冬は室内干し

布団を外で干すことはできないので
布団乾燥機があるとベスト!

凍結防止の水抜き作業

外気で水道管の水が凍らないように水抜き作業をすることもあります。入居時に不動産業者に確認しておきましょう。

VR動画は
こちら



動画でチェック! 秋田の冬の暮らし

秋田の日常をVRで 疑似体験できる360度ムービー

県内でも比較的雪の少ない秋田市と、雪の多い地域にある横手市の冬の様子を360度ムービーで体験しながら、雪国の暮らしを身近に感じることができます。

除雪事情など冬の暮らしの気になる部分や、冬ならではの美しい景色・レジャーなど、秋田の冬の魅力もお届けします♪



Interview 01



休日には外遊びを満喫。「自然の中で子どもと過ごすことが日課になりました」。

神奈川県→

秋田市へ移住

#Uターン #子育て

Profile

毛利 雄大さん

仕事：会社員
秋田在住歴：5年6か月

秋田の四季が育む かけがえのない子育て

神奈川県出身の毛利さんは、東京の業務用調理機器メーカーに勤務していました。毎朝乗り換えを重ねて満員電車で揺られ、終電間際に帰宅する毎日にむなしさを感じていた頃、コロナ禍と第一子の妊娠をきっかけに移住を決意。秋田市の移住相談会で紹介を受けたノリット・ジャパン株式会社へ転職し、現在は食品企画部長として手腕を振っています。転職活動では数社から内定を得て、「求人数の絶対数は少なくとも、募集している職種の幅は東京と変わらない」と実感したといいます。

令和3年に秋田市での新生活をスタート。移住直

後に誕生したお子さんを含め、現在は2人の子どもがいます。春はふきのとうを採ってきて天ぷらにして食べ、夏は釣りや果物狩りにでかけ、冬は雪遊びをするなど、四季折々の秋田ならではの体験を家族で満喫しています。「モノの豊かさよりも、地方ならではの体験を子どもたちに贈ることが最高に幸せです」と笑顔で語ります。



Q&A 移住者に質問！

Q 他の地域も検討した中で秋田を選んだ決め手は？

雪が降ることで四季がはっきりしていることでした。都会では味わえない大きな魅力だと思います。

Q 都会での暮らしと比べて変化はありましたか？

移住前は1時間の満員電車で揺られ通勤でしたが、秋田では車で10分になり快適になりました。

Q 秋田の子育て環境の満足度はいかがですか？

動物園や水族館のクオリティが想像以上に高く、恵まれた環境だと実感しています。

Interview 02

リモートワークで築くキャリアと ふるさとでの子育て

由利本荘市出身の湯沢さんは、飲食業や地方創生事業を展開するTregion株式会社の東京のオフィスや店舗で働いていましたが、県内在住の男性との結婚を機に、秋田市へUターン。それをきっかけにリモートワークへと働き方をシフトしました。

秋田での新生活をスタートさせた後、令和7年には女兒を出産しました。「両親のそばで子育てをしたいという願いが叶いました。実家から届けてもらったお米や新鮮な野菜を離乳食に使える環境に、何よりの安心感を抱えています」と語ります。

令和8年4月に復職したタイミングで執行役員に就任。

現在は柔軟な働き方を活かし、盛岡市の本社や各地域にある9つの店舗をオンラインで繋ぎ、組織開発や事業推進、人事業務など会社の舵取りを担っています。

現在は、リフォームした一軒家に住んでいます。「家の中で子どもが元気いっぱいに遊んでも、周囲を気にせず、のびのびと過ごせることが良いですね」と話します。

キャリアのステップアップと、家族の温かさに囲まれた子育てを、ふるさと秋田で実現している湯沢さん。地方に住んでも自分らしく挑戦できることで、今後の歩みにも胸を膨らませています。



実家の庭では、野菜が育つ様子を見せたり、芝生の上をハイハイさせたりしているそうです。

Q&A 移住者に質問！

Q 秋田の生活で大変なことはありますか？

保育園までは歩いて行ける距離なのですが、クマの出没なども心配なので、安全のために車での送迎が多いです。

Q 仕事と子育ての両立はいかがですか？

毎日ドタバタですが、第一希望の保育園に入園でき、いざという時はお互いの両親を頼れる環境が本当に心強いです。

Q これから挑戦したいことを教えてください！

出産をきっかけに運転に挑戦中です。大湯村の「桜と菜の花ロード」に自分の運転でお出かけすることが目標です！

東京都→

秋田市へ移住

#Uターン #リモート

Profile

湯沢 裕佳さん

仕事：会社員
秋田在住歴：5年

Interview 03

大手企業から家業の酒蔵へ 伝統と挑戦で未来を醸す

大学卒業後、大手企業で10年間、人事や役員秘書、官公庁への出向など一線で活躍してきた柿崎さん。もともと実家である浅舞酒造株式会社を継ぐことは考えていませんでしたが、前職で日本酒の面白さに触れたことで意識が変わりました。「同じ造り方をしても毎年味が変わる奥深さ、職人の技、そしてブランディング。他にはない挑戦ができる」と魅力を感じ、令和7年4月に約20年ぶりに横手市へとUターンしました。

現在は経営企画部長として酒造りの現場に入りつつ、経営管理や国内外への営業など幅広い業務をマルチに

牽引しています。

酒造りが行われる冬場は慌ただしく過ぎていきますが、造りが落ち着く夏場の休日は、一緒に移住した千葉育ちの奥様と、共通の趣味であるドライブへ。県内外の美味しいものを食べ歩いたり、お祭りやイベントに足を運んだり、地域の魅力を満喫しています。

「米価高騰など厳しい状況ですが、多くの方に受け入れられる酒造りを通じて、横手・浅舞地域を盛り上げていきたいです」と語る柿崎さん。その新たな挑戦は始まったばかりです。



千葉県→

横手市

へ移住

Uターン # 家業

Profile

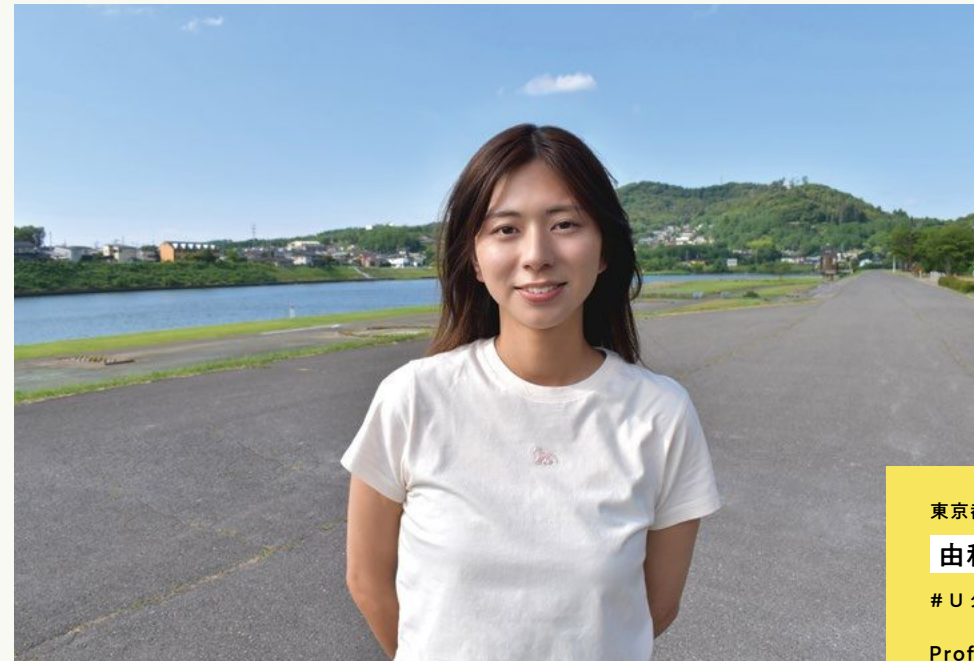
柿崎 礼樹さん

仕事：会社員（浅舞酒造後継者）
秋田在住歴：1年6ヶ月



地域のお祭りなど各地に行くたびに秋田には魅力がたくさんあると実感するそうです。

Interview 04



店名の HAPUM は韓国語であくびという意味。「ほっと一息できるカフェを目指しています」。

東京都→

由利本荘市

へ移住

Uターン # マイビジネス

Profile

阿部 風亜さん

仕事：個人事業主（ハブンカフェ代表）
秋田在住歴：9ヶ月

東京での経験活かし 秋田で等身大のチャレンジ

阿部さんは東京の新大久保でカフェ店員として働いていましたが、転機となったのは令和7年の夏、久しぶりにお盆の時期に帰省した地元の由利本荘市での心地よさでした。「東京の猛暑に比べ、秋田は風が本当に気持ちよくて夜も涼しい。この豊かな空気の中で暮らしたい」と、令和8年1月にUターンしました。

Uターン後は夢だったカフェ開業に挑戦。初期費用を抑えるため、まずはテントでのイベント出店からスタートすることにし、HAPUM CAFE（ハブンカフェ）を立ち上げました。地元のさくらまつりなどのイベントに出店し、新大久保で人気だった焼きマシュマロアイス

やドリンクを提供。最初は珍しそうに見ていたお客さんも、新しい食の体験を笑顔で楽しんでくれています。

東京での朝から晩まで働く忙しい日々から一転、穏やかでストレスの少ない生活を取り戻した阿部さん。キッチンカーを導入してメニューの幅を広げる夢を描きながら、大好きな地元の温かい繋がりに支えられ、理想の未来へ進んでいます。



Q&A

移住者に質問！

Q

移住支援金はどうに活用されましたか？

秋田暮らしに必要な車の購入資金の一部として活用させていただき、ありがたかったです。

Q

冬の生活はどうでしたか？

私も妻も初めての雪道運転を経験しました。緊張しましたが安全運転を徹底し、乗り越えることができました。

Q

これからの目標を教えてください。

過疎化が進み寂しさも感じますが、仕事を通じて若い世代が魅力的に感じるまちづくりに貢献したいです。

Q

移住前にやっておいたほうが良いことはありますか？

事前に支援制度などを知っていればスムーズだったと思うので、相談窓口の活用をおすすめします。

Q

東京で暮らしていた頃と比べ、生活は変わりましたか？

東京での生活は振り返ってみると疲れていたんだなと気づきました。今は生活リズムが整いました。

Q

休日は何をしていますか？

地元の川沿いの堤防をペットの犬と散歩したり、姪っ子と遊んだりしてゆっくり過ごしています。

Interview 05



北東北最大の和梨の産地として知られる男鹿。2haで幸水や秋泉などを栽培している。

宮城県・兵庫県→
男鹿市 へ移住

#Uターン #農業

Profile
高橋 一成さん、真由さん
仕事：梨農家
秋田在住歴：9年6か月

想いを受け継ぎ 男鹿で挑む梨づくり

宮城県出身の一成さんと兵庫県出身の真由さんは、秋田県立大学への進学を機に秋田へ。キャンパスで出会ったお二人は卒業後に結婚し、夫婦そろって*県の秋田アグリフロンティア育成研修に2年間参加して農業のノウハウを共に学びました。

その後、令和6年に男鹿市で梨農家として独立。市役所やJAを通じて出会ったのは、高齢のため引退を考えていた梨農家の渡部さんでした。渡部さんの想いが詰まった農園をそのまま引き継ぎ、園地を借り受けての挑戦がスタートしました。

天候や鳥獣被害による収量の変動など苦労もありま

*秋田アグリフロンティア育成研修の詳細はP47

Q&A 移住者に質問！

Q 秋田で就農の決め手は何ですか？

タイミングよく梨農園を引き継げるご縁に恵まれたことで、ここで挑戦しようという決意が固まりました。

Q 秋田の良さはどんなところですか？

スーパーなどでの日常のちょっとした混雑やストレスがないところです。自分たちのペースで暮らせます。

Q 地域の行事に参加していかがですか？

地域の方々が温かく迎えてくださり、行事を通じて地元と馴染むことができました。



Interview 06

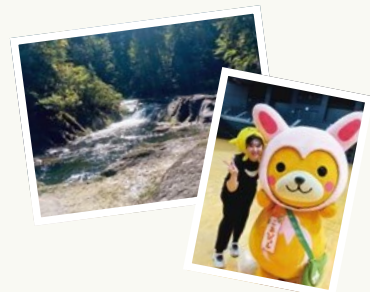
事業継承で地域をつなぎ のびのび心地よい暮らし

由利本荘市出身の佐藤さんは、東京の服飾専門学校を卒業後、ドレスアトリエでの勤務や洋菓子店の店長など多彩なキャリアを積んできました。しかし、都会のせわしない日々の中で「空が狭く、人が多すぎる東京は自分に合わない。秋田へ帰りたい」という想いが強くなり、Uターン活動を開始。東京や秋田で行われている移住・就職フェアで情報収集をするなか、インターネットの情報だけでは分からないリアルな企業の魅力に次々と出会いました。

「せっかく戻るなら、秋田のためになる仕事をしたい」と考えた佐藤さんは、事業承継をサポートするコ

コレジャパン株式会社と出会い、北秋田市の地域おこし協力隊として着任しました。現在は、後継者がいない地域の産業と後継者になりたい人を繋ぐ支援業務を行なっています。

東京でも秋田でも賃貸物件暮らしですが、移住後は家賃が格段に安くなり、部屋は広くなりました。18年ぶりの秋田は「とにかく息がしやすく、時間の流れがゆったりしています。地域の人たちの心にも余裕を感じます」と話す佐藤さん。温かく気にかけてくれる地域の方々の優しさに触れ、広々とした快適な住まいで、秋田暮らしを満喫しています。



事業承継のサポートをする仕事は「地域に直接貢献できることにやりがいを感じています」。

Q&A 移住者に質問！

Q 出身の由利本荘市と比べ、北秋田市の冬はどうでしたか？

移住した年の冬は大雪で大変でしたが、近所の人と交流するきっかけになりました。

Q お金の使い方は変わりましたか？

東京では買い物して過ごすことが多かったですが、ドライブをしたり遠出をするようになりました。

Q これからの秋田暮らしの楽しみを教えてください。

自分の知らない魅力がたくさんあると気づきました。秋田のことをもっと知ってみたいです。

秋田県25市町村 GUIDE

各地域の支援制度を確認して、あなたにぴったりの移住先を見つけましょう。

〈主な支援制度〉

*各制度についての要件等、詳しくは県や市町村にお問い合わせください。

【秋田県】		現 地 案 内	体 験 移 住	働 き 方	住 ま い				子 育 て 支 援				支 援 情 報					
県北  県中央 県南		移 住 体 験 ツ ア ー	体 験 住 宅	ワ ー ク シ ョ ン 支 援	リ モ ー ト ワ ー ク 施 設	住 宅 取 得	リ フ ォ ー ム	家 賃 補 助	空 き 家 バ ン ク	18 歳 ま で の こ も の 医 療 費	中 学 校 ま で の 給 食 費	0 ・ 2 歳 児 向 け の 保 育 料	地 域 み ら い 留 学	保 育 園 留 学 ・ 教 育 留 学 ・ 奨 学 金	交 通 費 ・ 宿 泊 費 等 支 援	移 住 費 支 援	東 京 圏 か ら の 移 住 支 援 金	
秋田県				○	○	○	○			○		○			○		○	○
県北	鹿角市	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小坂町	○			○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	
	大館市	○	○		○	○	○		○	○	○	○		○	○		○	
	北秋田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	上小阿仁村				○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	
	能代市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	藤里町		○			○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	
	八峰町	○				○	○		○	○	○	○		○			○	
三種町					○	○		○	○	○	○		○			○		
県中央	秋田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	男鹿市	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	潟上市		○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	五城目町				○		○		○	○	○	○	○	○	○			○
	八郎潟町					○	○		○	○	○	○		○		○	○	
	井川町					○	○		○	○	○	○		○		○	○	
	大潟村					○	○		○	○	○	○	○	○			○	
	由利本荘市	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○
にかほ市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
県南	仙北市	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大仙市	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美郷町	○				○	○		○	○	○	○		○	○			○
	横手市				○	○	○		○	○	○	○		○	○			○
	湯沢市				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○
	羽後町	○	○			○	○		○	○	○	○		○				○
	東成瀬村	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



県北

[かづのし]

鹿角市

人が温かく、笑顔あふれる まちで鹿角ライフを

北東北3県の中央にある鹿角市は、りんごや桃などの果樹栽培が盛んです。また、ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事（花輪ばやし）」や「大日堂舞楽」などの伝統芸能、八幡平・湯瀬・大湯に代表される温泉などが魅力です。

住んでる方に聞きました！

人の温かさが息づくまち

鹿角で育む暮らし

鹿角に親子で移住して約3年。鹿角のいいところは、1ターンでも子育てがしやすいこと。児童センターや児童クラブ等が整っているのはもちろん、困ったときは子どもを預かってくれる、心強い“お世話好きさん”がいっぱい。田舎での子育ての良さを実感しています。



鹿角市移住コンシェルジュ
日高 明衣さん



お問い合わせ先

鹿角市 政策企画課かづのライフ班

連絡先： ☎ 0186-30-1310

Email: k-life@city.kazuno.lg.jp

HP: <https://kazuno-gurashi.jp/>

DATA

人口：26,084人

夏の平均気温：23.4℃

医療機関数：23施設

冬の平均気温：-0.9℃

就学前施設数：11施設

降雪量：563cm

移住者支援制度

■ 鹿角市ふるさとライフ若者定住支援補助金

39歳以下の子育て世帯や単身・若者世帯の方へ引越に関する費用、民間賃貸住宅に入居した場合は入居時初期費用・家賃（最長24か月分）の一部を補助します。

移住体験してみよう！

■ 仕事体験プログラム

「暮らすように滞在する」をテーマに、最長2週間、鹿角市内の事業所で働いてみることで、自分に合った仕事を見つけるプログラムです。宿泊費、レンタカー代を市が負担します。また、働いた分の賃金を支給します。（事業者により異なる）

■ いつでもお試し移住ツアー

希望する日時・内容によるオーダーメイドのツアーです。移住コンシェルジュがアテンドし、鹿角をご案内します。宿泊費、食費を市が負担し、最長2泊3日でご希望に沿った様々な体験ができます。



公式サイト





[こさかまち]

小坂町

自然と歴史ロマン薫る コンパクトタウン「小坂」

町の中心部が直径約3キロメートルにすっぽり入り、医療機関（診療所・歯科）、教育施設（小・中学校・図書館・保育園）、商業施設（スーパー・コンビニ・薬局）、公園や運動場など生活に密接なものが一通りそろっています。

住んでる方に聞きました！

四季に寄り添い、 世界を感じる町暮らし

カナダから来て小坂町に住み始めて約1年、四季の移ろいに合わせて、ゆったりとしたペースで暮らせることに心地よさを感じています。歴史ある町並みや文化に加え、国際的な雰囲気に触れられることも、この町ならではの魅力だと思います。国際交流員として、町民の皆さんとのふれあいに取り組んでいます。



小坂町国際交流員
フランソワさん



お問い合わせ先

小坂町 総務課企画財政班

連絡先： ☎ 0186-29-3907

Email: kikaku@town.kosaka.akita.jp

HP: <https://www.town.kosaka.akita.jp/>

DATA

人口：4,269人
医療機関数：3施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.0℃
冬の平均気温：-1.9℃
降雪量：264.8cm



移住者支援制度

■ 移住定住促進奨励事業

小坂町で暮らす家建てたい、空き家を買いたい方を応援する事業です。諸条件を満たせば、新築は最大60万円、中古は最大80万円を補助します。

■ 町民「入場無料」

町民は各指定有料観光施設の入場料や特定日に限り「康楽館」での観劇料が無料です。

■ 家計に優しい子育て制度

18歳まで医療費無料のほか、在宅育児支援給付金（満3歳まで月額15,000円）、すこやか育児手当（小学校・中学校入学時と中学校卒業時に祝金50,000円）、また小中学校給食費や教材費の助成をしています。

移住体験してみよう！

■ 移住体験ツアー

秋田県外在住者で諸条件を満たせば、交通費や宿泊費1人あたり最大2万円、一世帯で5万円補助します。



公式サイト /



[おおだてし]

大館市

ちょうどいい田舎暮らし ハチ公のふるさと大館市

北東北3県の県庁所在地のほぼ中央に位置し、大館能代空港経由で羽田まで約100分と首都圏へのアクセスも良好。生活に必要なものがそろい、便利さと自然が調和した「ちょうどいい田舎暮らし」が叶います。

住んでる方に聞きました！

新しい暮らしは、大館から。

新しい場所で新しい人と出会い、自分らしい暮らしを始めたいと思い大館へ。想像していたよりも暮らしやすく、不便さとのギャップもほとんどありませんでした。秋田犬たちと穏やかな時間を過ごす毎日に幸せを感じています。大館の力になれるよう、大館のためになる活動にも取り組んでいきたいです。



大館市地域おこし協力隊
佐藤 夫



お問い合わせ先

大館市 観光交流スポーツ部交流推進課

連絡先： ☎ 0186-43-7149

Email: kouryu@city.odate.lg.jp

HP: <https://www.city.odate.lg.jp/kurashi/>

DATA

人口：63,310人
医療機関数：57施設
就学前施設数：26施設
夏の平均気温：23.7℃
冬の平均気温：-0.5℃
降雪量：301.4cm



移住者支援制度

■ 定住奨励金

県外から転入し、空き家バンク登録物件を購入・居住した方に対し、対象経費について最大30万円分の商品券を交付します。

■ 住宅リフォーム支援事業

市外から移住される方が居住する住宅をリフォームする場合は工事費の15%（上限40万円）、空き家バンク登録物件をリフォームする場合は工事費の20%（上限50万円）を助成します。

移住体験してみよう！

■ お試し移住体験

「仕事・暮らし・子育て環境」など、希望に合わせたオーダーメイド型の移住体験をご案内します。市内までの交通費も半額助成します。（1世帯あたり最大5万円）※1泊2日



公式サイト /





【きたあきたし】

北秋田市

羽田空港から70分！
体験メニューが豊富です

大館能代空港がある北秋田市は、羽田空港から70分でアクセスできます。また、日本三大樹氷観賞地の1つである森吉山や阿仁のマタギ文化、世界文化遺産に登録された伊勢堂岱遺跡など、北秋田市ならではの魅力がたくさんあります。

住んでる方に聞きました！

北秋田市で見つけた 新しい暮らしと出会いのかたち

千葉から母と移住し、庭で野菜や果物を育て、収穫した果物でジャムを作るなど地方での生活を満喫しています。伝統の合川樺細工や、前職の栄養士を活かした公民館講座の講師などさまざまなことに挑戦しています。新しいチャレンジや、趣味の時間を楽しみたい方に最適です！



北秋田市地域おこし協力隊
藤嶋 敦子さん



DATA

人口：26,913人
医療機関数：15施設
就学前施設数：10施設
夏の平均気温：23.1℃
冬の平均気温：-1.5℃
降雪量：348cm



移住者支援制度

■ 移住者住まい応援事業

引越費用や普通自動車免許取得費用等の一部を最大20万円助成します。

■ 移住者住宅支援事業

市外から転入し、市内に住宅を新築、または購入した方に対して、最大130万円補助します。

■ きたあきた出産まると応援事業

妊婦健診等でのタクシー利用の費用補助、通院費かかり増し支援、きょうだい預かり支援など、安心して子どもを産み育てられる支援をします。

移住体験してみよう！

■ お試し移住体験

「くらし・しごと・まなび」に関するメニューを豊富に取りそろえています。さらに体験に要した費用のうち、1世帯あたり5万円まで補助します。



■ 移住体験住宅

1人1セット分の寝具のクリーニング代をお支払いいただくことで滞在が可能です。

【かみこあにむら】

上小阿仁村

自然の中で暮らす私たちは
森を大切に育てています

先人が守り育てた森林の恵みにより、上小阿仁村の産業や文化は受け継がれてきました。令和5年8月には秋田杉で建てられた温もりある新園舎が完成し、園児たちがのびのびと過ごしています。森林と共に生きる、豊かな暮らしを体験してみませんか。

住んでる方に聞きました！

自然×学び×運動がそろって 充実した暮らし

自然豊かな山あいの村です。トレーニングセンター、テニスコート、スキー場などのスポーツ施設や、生涯学習センター、図書館などの文化施設があります。どの施設も利用料が無料のため、スポーツ活動や文化活動に力を入れたい方には大変おすすめです。

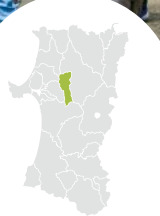


上小阿仁村PRキャラクター
こあびょん



DATA

人口：1,771人
医療機関数：1施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.7℃
冬の平均気温：-0.5℃
降雪量：361.2cm



移住者支援制度

■ 移住定住奨励金（1人10万円、16歳未満30万円）

上小阿仁村に転入する方に移住定住奨励金を交付します。

■ 子宝祝金制度（第1子20万円、第2子以降60万円）

出産を祝福し、祝金を贈呈しています。第3子以降は、一時金の他に6歳の誕生日の前月まで、月1万5千円を贈呈します。

■ 住宅リフォーム事業（最大60万円）

増改築、リフォーム工事をする方を対象に助成します。

■ 小中学生入学準備助成金

小学校入学時に5万円、中学校入学時に10万円を準備金として交付します。



令和5年8月に完成した
かみこあに保育園の様子

お問い合わせ先

北秋田市 産業部 産業政策課 移住・定住支援室

公式サイト



連絡先：☎ 0186-62-8002

Email: iju@city.kitaakita.akita.jp

HP: https://iju-kitaakita.jp/

お問い合わせ先

上小阿仁村 総務課企画班

公式サイト



連絡先：☎ 0186-77-2221

Email: kikaku@vill.kamikoani.lg.jp

HP: https://www.vill.kamikoani.akita.jp/



【のしろし】

能代市

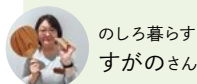
木の香りとやさしさに
包まれる、能代の暮らし。

良質な秋田杉とともに発展してきた能代市は、木材産業を中心に栄えてきたまちです。明治期には木材産業が大きく発展し、「東洋一の木都（もくと）」と呼ばれるようになりました。木の歴史が息づくまち、木都・能代市で暮らしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

大人も夢になれる “ 図工の時間 ”

能代市の「木の学校」は、木の香りに包まれ気軽に木工を楽しめる場所です。木工教室では、初心者でも先生の丁寧な指導で椅子や秋田杉のうちは作りを体験できます。自分で作った作品には愛着がわき、木の手触りが心地よいです。ぜひ体験してみませんか？



のしろ暮らし
すがのさん



DATA

- 人口：45,798 人
- 夏の平均気温：22.0℃
- 医療機関数：66 施設
- 冬の平均気温：1.2℃
- 就学前施設数：16 施設
- 降雪量：260cm

移住者支援制度

- 能代市に「移住」して「働く」
45歳未満の方へ補助金制度も！
※いずれも金額は上限
- 引っ越し費用、暖房機器購入設置費用、テレワーク設備整備費用、ペーパードライバー講習費用、自動車冬季用備品購入費用、除雪用具等購入費用 20 万円（加算制度あり）
- 住宅取得費用
新築住宅 100 万円、中古住宅 50 万円（加算制度あり）
- 住宅賃借費用 35 万円

移住体験してみよう！

- オーダーメイド型移住体験ツアー
2泊3日の能代旅！能代に移住したらどんな暮らしになるのかな？冬の暮らしは？能代で確認したいことなどをお伺いしプランをお作りします。交通費、宿泊費の半額助成制度（上限5万円）を活用して能代の暮らしを体験してみませんか。



お問い合わせ先 能代市 移住定住推進課

連絡先： ☎ 0185-74-6767 Email： iju@city.noshiro.lg.jp

HP： <https://www.city.noshiro.lg.jp/sangyo/iju-teiju/11013>

公式サイト /



【ふじさとまち】

藤里町

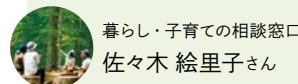
白神山地のふもとで
“ とんじこんじ ” ライフ

羽田から2時間かからず到着する、世界自然遺産のまち。豊かな自然と人のあたたかさが自慢。合言葉は「とんじこんじ」。周りに流されず自分の納得するやり方という意味の秋田弁。都会とは一味違うライフスタイルを藤里町で探してみませんか？

住んでる方に聞きました！

家族時間も充実 伝統芸能も楽しめる町

駅やコンビニこそありませんが、身近に夜8時まで営業するスーパーがあり、車とネットを活用することで、程よくシンプルな暮らしを楽しめます。職住近接の人が多く、家族と過ごす時間を取りやすいのがメリット。雪かきの汗をすぐその温泉で流すことができたり、都会とは違う楽しみ方ができます。



暮らし・子育ての相談窓口
佐々木 絵里子さん



DATA

- 人口：2,644 人
- 夏の平均気温：21.7℃
- 医療機関数：1 施設
- 冬の平均気温：-0.5℃
- 就学前施設数：2 施設
- 降雪量：420.9cm

移住者支援制度

- 家や引越しに関すること
 - 空き家バンク
 - 定住化促進アパート
 - 住宅新築・改修費用補助
 - 引越し代金補助など
- その他
 - 運転免許取得費用補助
 - 移住相談窓口
住まいの相談：NPO 法人ふじさと元気塾
子育て・暮らしの相談：わたす研究所
- 子ども・子育てに関すること
 - 妊娠・出産の応援に 5 万円
 - 小中高入学祝に 3 万円
 - 高校生まで医療費無料
 - 高校生へは毎月交通費 1 万円
 - 保育園・幼稚園・小中一貫校で少人数ならではのきめ細かな指導

移住体験してみよう！

- お試し移住体験住宅「粕毛の家」
白神の山々を望む一軒家。薪ストーブやご近所さんとの交流も楽しめます。



お問い合わせ先 藤里町 総務課企画財政係

連絡先： ☎ 0185-79-2111 Email： kikaku@town.fujisato.lg.jp

HP： <https://f-redesign.jp/ikikata/>

公式サイト /





〔はっぽうちょう〕

八峰町

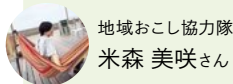
みんなの笑顔が
絶好調！八峰町！

県北西部の小さなまち、八峰町。青森県に隣接し、西は日本海・東は白神山地に囲まれ、自然の恵みあふれるまちです。農業と漁業が盛んで、多くの若者が活躍しています。子育て支援やICT教育に力を入れ、子育てしやすいまちを目指しています。

住んでる方に聞きました！

海・山・温かいつながりに 囲まれた暮らし

自然に囲まれた八峰町での暮らしに変えてから、子どもは毎日元気に外遊び、夫は田舎道でランニング。仕事に追われず、家族と過ごす時間が増えました。地域の方と交流する機会も多く、人とのつながりが温かいまちだと感じています。



地域おこし協力隊
米森 美咲さん



DATA

人口：5,869人
医療機関数：4施設
就学前施設数：2施設
夏の平均気温：21.5℃
冬の平均気温：1.6℃
降雪量：287.4cm

移住者支援制度

■空き家活用住宅

町がリフォームした一軒家に、家賃最大35,000円で住むことができます。

■住まいづくり応援事業

空き家の購入やリフォームに最大100万円、新築には最大200万円の補助をします。

■子育て世帯向け支援

- 赤ちゃん誕生祝い金として第1子10万円、第2子30万円、第3子以降50万円を贈呈します。
- 18歳まで医療費が無料です。
- チャイルドシート購入費の上限1万円を補助します。
- 小学校入学時にランドセル（モンベル製バックパック）を贈呈します。



〔みたねちょう〕

三種町

きれいな空気と水で育つ
じゅんさいの郷

じゅんさいで有名な三種町。オレンジ色の夕日に合える海岸、みどり色の田園風景、澄んだ空気の中でのんびりとした田舎暮らしが楽しめます。人の優しさを感じながら、ゆったりとした時間の中で新しい自分に出会ってみませんか。

住んでる方に聞きました！

四季と共に、 人の温かさに触れられる町

じゅんさいやサンドクラフトなど、季節ならではの楽しみが身近にあります。初めての冬には近所の方が除雪を手伝ってくれたり、暮らしの知恵を教えてくださいと、地域の方々に支えられながら安心して暮らしています。自然の豊かさ、人の温かさを感じながら暮らせるのが三種町です。



三種町地域おこし協力隊
西村さん



DATA

人口：13,615人
医療機関数：9施設
就学前施設数：3施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：1.2℃
降雪量：346.78cm

移住者支援制度

■子育て世帯向け支援

- 赤ちゃん誕生祝い金として、第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円を贈呈します。
- 0歳～高校卒業までの医療費が全額無料です。
- 小学校入学時にランドセルをプレゼントします。
- 町立小中学校在籍の児童生徒の給食費は全額免除、町内に住所を有し町外の小中学校に通う児童生徒には一定額を補助します。
- 保育料を全額助成します。

■その他の支援

- 若者世帯（50歳以下）や子育て世帯の住宅取得に最大120万円補助します。
- 婚姻届提出後、2ヶ月以内に町内の同一住所に居住された夫婦へ10万円を交付します。
- 自力での除排雪が困難な高齢者等への支援を行います。



お問い合わせ先

八峰町 企画政策課

連絡先：☎ 0185-76-4603

Email: kikaku@town.happou.akita.jp

HP: https://www.town.happo.lg.jp

公式サイト



お問い合わせ先

三種町 企画政策課企画係

連絡先：☎ 0185-85-4817

Email: kikaku@town.mitane.akita.jp

HP: https://www.town.mitane.akita.jp/

公式サイト





【あきたし】

秋田市

ちょうどいいから 住みやすい

美術館やショッピング、最先端の医療施設など、都市機能の利便性は享受したい、けれども時には喧騒から解放され、自然に包まれ心を癒やしたい。都市機能と自然を併せ持つ秋田市には日々を暮らす上での“ちょうどよさ”があふれています。

住んでる方に聞きました！

便利さと豊かな自然が調和する ちょうどいい暮らし

中心市街地はスーパーや飲食店が充実している一方、車を走らせると山や海などの豊かな自然があります。まちと自然、人と人、どれもがちょうどいい距離感で心地よく、のびのびと暮らせます。交通網も充実していて遠出も快適。自分らしい毎日を過ごせる魅力的なまちです。



秋田市地域おこし協力隊
山崎 結衣さん



DATA

- 人口：289,439人
- 夏の平均気温：22.7℃
- 医療機関数：419施設
- 冬の平均気温：1.4℃
- 就学前施設数：122施設
- 降雪量：379.3cm

移住者支援制度

■ 子育て世帯または若者移住促進事業補助金

県外から移住する子育て世帯や若者世帯の住宅の新築・購入や賃借、転居に係る費用を補助します（一定の要件あり）。

■ 移住相談

東京の移住相談センターでは対面とオンラインによる移住相談の他、仕事探しをサポートします。

移住相談センター TEL 0120-99-1101

■ 創業支援補助金

県外から移住して創業する方に、創業に要する経費の一部を補助します（一定の条件あり）。

産業振興部商工貿易振興課 創業支援担当 TEL 018-888-5728

移住体験してみよう！

■ 移住体験住宅

移住前にリアルな暮らしを体験。補助制度あり。



■ 移住体験ツアー

オーダーメイドのツアーです。補助制度あり。



お問い合わせ先 秋田市 選ばれるまち戦略課

連絡先： ☎ 018-888-5487

Email： ro-plpo@city.akita.lg.jp

HP： https://akitacity110.com/

公式サイト /



【おがし】

男鹿市

ナマハゲ付き「男鹿暮らし」 いかがですか？

三方を海に開かれ、山海の恵み豊かな男鹿半島。ユネスコ無形文化遺産「男鹿のナマハゲ」やロックフェスが有名な男鹿市では、官民が連携した新たなまちづくりや、「子育て環境日本一」を目指した持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

住んでる方に聞きました！

ナマハゲ文化を継承しながら 楽しむ男鹿の暮らし

ナマハゲ文化の保存・継承に携わりたくて、家族で新潟県から移住しました。娘もすっかり慣れっこですが、ナマハゲとの約束で良い子に成長してくれています。休日には道の駅巡りや寒風山に登ったり、鵜ノ崎海岸を散歩したりと男鹿の自然を満喫しています。



男鹿市総務企画部
企画政策課 副主幹
伊藤 大輔さん



お問い合わせ先 男鹿市 企画政策課

連絡先： ☎ 0185-24-9122

Email oga_iju@city.oga.akita.jp

https://www.city.oga.akita.jp/ijuteiju/index.html

公式サイト /



DATA

- 人口：22,506人
- 夏の平均気温：23.7℃
- 医療機関数：35施設
- 冬の平均気温：1.9℃
- 就学前施設数：6施設
- 降雪量：190cm

移住者支援制度

■ 移住活動支援補助金

移住に向けた下見や体験などで、県外から男鹿市を訪問する際の往復交通費の一部を補助します。

■ 移住者住宅取得等支援事業補助金

移住する世帯の住宅取得（新築や購入）、改修、賃貸借契約に要する費用を最大120万円補助します。

■ 子育て支援

- 保育料及び中学校までの給食費完全無償化
- 0～2歳児までの保育施設で使用するおむつの費用を無償化
- 高校生までの保険診療分の医療費自己負担分全額無償化
- 小・中・高と入学時に助成金支給

移住体験してみよう！

■ 移住体験住宅

市役所から徒歩5分の1棟貸しの体験住宅。大晦日に宿泊する場合はナマハゲ行事も体験できます。移住活動支援補助金と合わせての活用が可能です。



■ おがDAY☆保育体験

令和7年度に新設された認定こども園でお子さまの保育体験を受け入れています。



【かたがみし】

潟上市

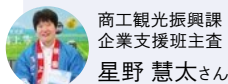
都市的で自然も豊か。
程よく田舎。程よい潟上

秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、県都秋田市に隣接したベッドタウンであり、豊かな自然環境もある潟上市。ショッピングや医療施設に不便はなく、2つある道の駅でレジャーも楽しめます。快適で程よい田舎暮らしに適した市です。

住んでる方に聞きました！

潟上市で楽しむ自然と ショッピングの充実スポット

コンパクトな町ですが、産直施設やバーベキュー広場、入浴施設が集合した「天王グリーンランド」、2ヘクタールの花壇広場と鑑賞温室を有する「ブルーメッセあきた」、スーパーや家具店などが建ち並ぶ「メルシティ潟上」など、余暇を過ごすのに最適な場所がそろっています。



商工観光振興課
企業支援班主査
星野 慧太さん



DATA

人口：30,709人 夏の平均気温：22.0℃
医療機関数：23施設 冬の平均気温：0.4℃
就学前施設数：16施設 降雪量：392.8cm



移住者支援制度

■かたがみ暮らし応援助成金

県外から潟上市へ移住する世帯に対して、10万円を支給します。

■お試し移住体験補助金

移住イベントで相談してくれた方を対象に、潟上市を訪問する際の交通費と宿泊費を補助します。

○ 単身で来訪は最大5万円、世帯なら最大7万円

■潟上市創業支援事業補助金

市外から転入して新たに事業を開始する場合に
上限額100万円を補助します。(補助率3分の2)

■潟上市結婚新生活支援事業

これから夫婦として新生活をスタートする特定の要件を満たした世帯を対象に、結婚新生活にかかる費用(家賃、引越費用等)を支援します。

○ 夫婦ともに29歳以下→1世帯あたり上限60万円

○ 夫婦ともに39歳以下→1世帯あたり上限30万円

■無料職業紹介事業

潟上市では、求職者に対して市内企業などへのあっせん行為を行う「無料職業紹介所」を開設しています。仕事をお探しでしたら、ぜひご相談ください。求人情報は市ホームページからもご覧いただけます。

【ごじょうめまち】

五城目町

チャレンジし続ける移住者が、
町に新たな風を吹き込む

歴史ある五城目朝市や挑戦を応援する「朝市plus+」は活気に満ち溢れています。起業拠点「BABAME BASE」では先輩移住者も活躍中。あなたも町の資源を生かし「土着ベンチャー(ドチャベン)」に挑戦しませんか？

住んでる方に聞きました！

自分が自分でいられる町

五城目町の魅力は「人」です。お裾分けやあいさつなど、データに映らない温かさがあり、歴史的に訪問者が多いため外国人や新しい人も温かく迎えてくれます。先輩移住者も多く、相談や地元とのつながり、挑戦へのサポート体制も万全。周りの支えがあるからこそ、無理せず「自分が自分でいられる」町です。



Cintli
保坂さん



DATA

人口：7,504人 夏の平均気温：22.0℃
医療機関数：8施設 冬の平均気温：0.4℃
就学前施設数：2施設 降雪量：361cm



移住者支援制度

■起業支援補助金

起業する方を対象に、その経費の一部を補助します。

○ 補助額 補助対象経費の50%、上限50万円

■リフォーム補助金

住宅のリフォームや増改築工事に対し、その経費の一部を補助します。

○ 補助額

移住・定住世帯(定着回帰型)→10%、上限20万円

移住・定住世帯(中古住宅購入型)→15%、上限30万円

※県補助金(県住宅リフォーム推進事業)と併用が可能です。

移住体験してみよう！

■教育留学

県外の小学1年生から中学2年生を、1～2週間の短期間、町内の小中学校に受け入れる「教育留学事業」を実施しています。



お問い合わせ先 潟上市 商工観光振興課

連絡先：☎ 018-853-5350

Email: kigyo-s@city.katagami.lg.jp

HP: https://www.city.katagami.lg.jp

公式サイト /



お問い合わせ先 五城目町 まちづくり課

連絡先：☎ 018-852-5361

Email: machi@town.gojome.lg.jp

HP: https://gojome.net/

公式サイト /





[はちろうがたまち]

八郎潟町

お出かけにちょうど良い
住みやすい町です

国道7号や、JR八郎潟駅、そして高速道路のICがあるため交通の便が良く、秋田市や能代市までは1時間程度で、無理のない通勤・通学ができます。また、県内では積雪も少なく、一年を通して住みやすい町となっています。

住んでる方に聞きました！

八郎潟町で味わう 伝統の願人踊と盆踊り

県内で一番面積が小さくコンパクトですが、息づく伝統文化のインパクトは県内屈指です。女装の踊り手が家々を門付する力強い「願人踊」は毎年5月5日開催。「一日市盆踊り」は8月18～20日の3日間開催していて、色とりどりの衣装をした踊り子が歌い踊ります。

八郎潟町
イメージキャラクター
ニャンパチ



秋田県三大盆踊りの
一日市盆踊り

DATA

人口：5,049人
医療機関数：4施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：0.4℃
降雪量：392.8cm

移住者支援制度

■ 八郎潟町住まいづくり支援事業補助金

町外から移住し、町内の空き家を購入する世帯に対し、中古住宅購入費用やリフォーム費用などを助成します。
(補助対象額の50%・上限40万円、加算要件に該当する場合最大100万円)

■ 八郎潟町移住支援助成金

町外から移住し、5年以上継続して町に居住できる世帯(世帯主が60歳未満)に対して、1人あたり月額3千円を2年間助成金として交付します。※若者世帯へ加算要件有。

■ その他

八郎潟町地方就職支援金(東京圏内の学生向け)
高校生までの医療費無料
給食費無償化



公式サイト /



お問い合わせ先 八郎潟町 産業課

連絡先：☎ 018-875-5803 Email: sangyou@town.hachirogata.lg.jp

HP: <https://www.town.hachirogata.akita.jp/>

[いかわまち]

井川町

井川町での～んびり
暮らしませんか？

井川町は四季折々の美しい自然に囲まれた、心温まる町です。春は日本国花苑の桜、夏は緑豊かな山々や田園風景、秋は黄金色に輝く稲穂や紅葉、冬は雪景色や町の玄関口である井川さくら駅のイルミネーションと、季節ごとに異なる魅力があります。

住んでる方に聞きました！

子どもの成長に寄り添う 子育てのまち

井川町は、秋田市から車で約40分の場所に位置しています。楽しいイベントが盛りだくさんの「子育て支援多世代交流館みなくる」や、生徒たちがのびのびと学んでいる「井川義務教育学校」などがあります。子育てしやすい環境が整っているこの町で、新しい生活を始めてみませんか？

井川町地域おこし協力隊
橋野さん



井川さくら駅の
イルミネーション

DATA

人口：4,036人
医療機関数：2施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：22.0℃
冬の平均気温：0.4℃
降雪量：392.8cm

移住者支援制度

■ 井川暮らし応援補助金

県外から移住し、町内で雇用される方もしくは新たに事業を営む方に対し、15万円を補助します。
(県外出身者の方には15万円を加算)

■ 住宅リフォーム補助金

県外から移住し、住宅のリフォーム工事等を行う方に対し、対象工事費の10%(上限20万円)を補助します。また、中古住宅を購入し、リフォーム等を行う方には対象工事費の15%(上限30万円)を補助します。

■ 充実の子育て支援

こどもセンター保育料の完全無償化、高校生までの医療費無料、義務教育学校の給食費無料、高校生等の通学定期券購入費の全額助成など



お問い合わせ先 井川町 総務課

連絡先：☎ 018-874-4411 Email: kikaku@town.ikawa.akita.jp

HP: <http://www.town.ikawa.akita.jp>

公式サイト /





【おおがたむら】

大潟村

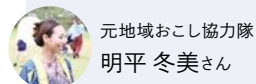
湖を干拓して生まれた コンパクトタウン

今から約60年前に、日本第二の湖であった八郎湖を干拓して誕生した、比較的新しい村です。田舎でありながら、生活に必要な施設が徒歩圏内にまとまったコンパクトタウンです。「桜と菜の花ロード」は、春の絶景スポットとしても人気です。

住んでる方に聞きました！

子どもも大人も支え合う 大潟村のやさしいコミュニティ

どこへ行くにも車で約2分と移動がスムーズ。渋滞のストレスがなく、子育てや通勤・買い物も快適です。広大な田んぼとまっすぐな道に異国感が漂います。子どもたちは学年を越えて遊び合い、地域の絆も深まっています。移住者にも温かく、自然豊かなコンパクトヴィレッジです！



元地域おこし協力隊
明平 冬美さん



DATA

人口：2,869人
医療機関数：2施設
就学前施設数：1施設
夏の平均気温：21.7℃
冬の平均気温：1.1℃
降雪量：323cm



移住者支援制度

■ 住まいづくり支援事業

分譲地や空き地を購入して住居を立てた場合、工事費の5%（上限100万円）を補助金として交付します。また、移住者世帯の場合、世帯員1名につき25万円（上限4名、100万円）分の商品券を交付します。

■ 宅地分譲

令和7年9月から分譲地の販売を行っています。詳細は大潟村ホームページをご覧ください。

■ 教育留学

大潟村の学校に1～2週間程度通い、豊かな教育環境を体験できます。普段と異なる環境を体験することは、こどもの成長にも大きな影響を与えます。まずはお問合せください。



お問い合わせ先 大潟村 総務企画課

連絡先：☎ 0185-45-2111 Email：kikaku@vill.ogata.lg.jp

HP：https://www.vill.ogata.akita.jp/genre/settlement

公式サイト



【ゆりほんじょうし】

由利本荘市

自然に囲まれたのびのびと 子育てしやすいまち

秋田県一広く工業と農業が調和するまち。鳥海山・子吉川・日本海と美しい自然があふれ、マリンレジャー、スキーなど四季を通じてさまざまな趣味を楽しめます。充実した子育て支援もあり、親子でのびのびとした暮らしが実現できます。

住んでる方に聞きました！

木のおもちゃ館と 自然が彩る癒しの時間

休日は、郷愁あふれる木造校舎を活かした「木のおもちゃ館」へ子どもとよく出かけします。心躍るおもちゃで遊ぶことができ、大人も木の温もりを感じながら童心に返ります。鳥海山と芋川桜堤の美しい風景を楽しめる通勤時間は、季節の移ろいを感じる贅沢なひとときです。



移住相談員
いとうさん



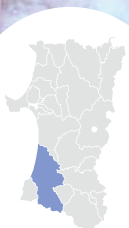
お問い合わせ先 由利本荘市 移住支援課

連絡先：☎ 0184-24-6247 Email：iju@city.yurihonjo.lg.jp

HP：https://yurihonjo-teiju.jp/

DATA

人口：68,447人
医療機関数：43施設
就学前施設数：24施設
夏の平均気温：22.3℃
冬の平均気温：1.9℃
降雪量：449.8cm



移住者支援制度

■ 相談員によるサポートと子育て支援

仕事や住まい、暮らしに関する情報提供をワンストップでサポート。保育料軽減、副食費無償、高校生まで医療費無料など、充実の子育て支援！

■ 定住促進奨励金

2人以上の世帯での移住で、一定の要件を満たした方に30万円を交付します。

■ 交通費助成

移住・就労体験、採用面接に係る交通費を最大4万5,000円助成します。

移住体験してみよう！

■ ゆりほん保育・教育遊学

本物の自然の中で「子育て+いなか暮らし」をテーマに、広い園庭のある保育園や小中学校での体験をしつつ地域と交流。親子でのんびり子育て生活を体験できます。要事前相談。



公式サイト





[にかほし]

にかほ市

海と山と暮らす

豊かな子育てしませんか！

鳥海山と日本海に抱かれ、豊かな水資源も有する自然豊かなまち。県内一あたかく比較的積雪量も少ないので、雪国暮らしはじめてさんにもオススメ！子育て関連施設・支援制度共に充実した子育て応援のまちなので、家族での移住にもピッタリ！

住んでる方に聞きました！

地域のひととの楽しい毎日
来てよかった、自慢の移住先

友人の紹介でにかほ市を知り移住しました。地域行事や伝統芸能に舞手として参加し、地域のひととの交流を楽しんでいます。毎週末イベントがあり充実した日々。食べ物も美味しく、来てよかったと心から思える自慢の移住先です。



令和6年移住
横山 豊さん



DATA

- 人口：21,519人
- 夏の平均気温：22.5℃
- 医療機関数：18施設
- 冬の平均気温：3.4℃
- 就学前施設数：8施設
- 降雪量：384.5cm

移住者支援制度

- 移住のかけ橋「移住リエゾン」がアナタとにかほ市をお繋ぎします。移住に関する不安やお悩み、お気軽にご相談ください。
- 所得制限なしで、保育料・副食費完全無償、高校生までの医療費無料！子育てするならにかほ市へ！
- 住まいの支援は最大40万円の定住奨励金や若者世帯向けの家賃補助金、お仕事支援は無料職業紹介所による就職相談・マッチング支援など、支援制度も充実！

移住体験してみよう！

■ 移住体験住宅

1日1,000円で利用できるお試し移住体験住宅があります！Wi-Fiも完備しているので、リモートワークの方にも◎



■ 移住体験ツアー

オーダーメイドでお試し移住体験ツアーも！市内で行きたい・みたいところを事前によく相談し、移住リエゾンがご案内いたします！

お問い合わせ先

にかほ市 企画振興部 連携推進課

連絡先：☎ 0184-43-7510

Email: renkei@city.nikaho.lg.jp

HP: <https://www.nikahome.jp>

公式サイト



[せんぼくし]

仙北市

田沢湖や武家屋敷

温泉など特色の多いエリア

日本一の深さを誇る「田沢湖」、桜の名所として知られる「角館の武家屋敷」、秘湯として人気の高い「乳頭温泉郷」など、多彩な自然と文化資源に恵まれた観光と交流のまちです。風光明媚な仙北市で、憧れの田舎暮らしをしてみませんか？

住んでる方に聞きました！

何気ない毎日が
心地よいまち

仙北市で育ち、今も子どもや猫たちと一緒に暮らしています。田沢湖や山々の風景、歴史あるまちなみは見慣れた景色ですが、四季の変化を楽しみながら、特別なことがなくても心地よく過ごせることがこのまちの魅力です。



仙北市企画部
まちづくり課
佐藤 さん



DATA

- 人口：22,065人
- 夏の平均気温：21.0℃
- 医療機関数：21施設
- 冬の平均気温：-1.6℃
- 就学前施設数：8施設
- 降雪量：420.3cm

移住者支援制度

- 県外から転入する方で、移住者のみで構成される世帯には基本額10万円、市内に居住する家族と同居するために移住した世帯には基本額5万円（子育て世帯加算額5万円）のほか、雪国暮らしに必要な備品等について10万円を上限に助成します。
- 定住するために住宅を取得した方に、課税される固定資産税相当額を交付（課税初年度から3年間）するほか、新婚世帯の新居取得、賃借、リフォーム、引越し費用等を助成（上限30～60万円）します。
- 空き家バンク登録物件の紹介、保育料の全額助成や高校生までの医療費無料、妊婦支援給付や育児・子育てファミリー支援金などの助成制度、産後ケアや子育て相談などのサポート体制が整っています。

移住体験してみよう！

■ 仙北市移住体験事業

仙北市への移住を検討している方に、本市での生活を一時的に体験することができる移住体験ハウス（利用無料）の提供や移住体験のサポートを行います。さまざまな体験プログラムの中からご希望に応じたオーダーメイドな体験メニューを調整します。また、利用期間中における市内の移動に要する経費を1世帯あたり5万円助成します。



お問い合わせ先

仙北市 企画部 まちづくり課

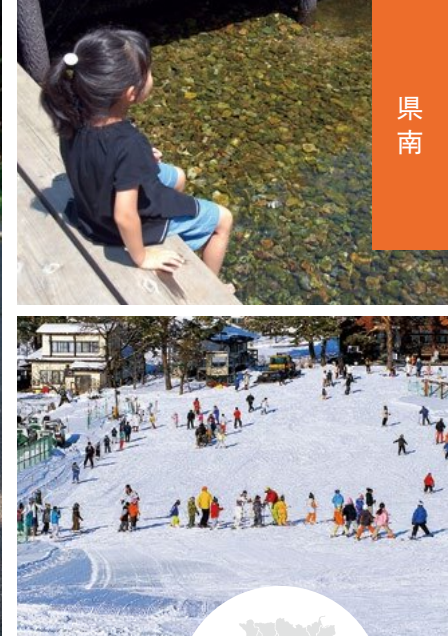
連絡先：☎ 0187-43-3315

Email: machi@city.semboku.akita.jp

HP: <https://www.city.semboku.akita.jp/egukite/>

公式サイト





[だいせんし]

大仙市

人が活き 人が集う
夢のある田園交流都市

全国花火競技大会「大曲の花火」が開催され、市町村別米収穫量全国第2位を誇る日本有数の米どころ。子どもの医療費、保育料無償化など子育て支援に力を入れています。伝統行事や食などの地域資源に恵まれた大仙市で暮らしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

様々な支援制度で、
あなたの移住を全力サポート

大仙市では、移住支援金や家賃補助など充実した移住者支援に加え、空き家バンクの登録物件を活用することでさらに手厚い住宅取得補助が受けられます。また空き家バンク登録物件を解体して新築する場合も独自の補助制度をご用意。新生活を全力で後押しします。



移住定住促進課 主事
藤嶋 健人さん



DATA

人口：71,752人
医療機関数：91施設
就学前施設数：28施設
夏の平均気温：24.7℃
冬の平均気温：-0.3℃
降雪量：475cm

移住者支援制度

■住宅取得支援事業

本市に移住・定住しようとする方の住宅取得費を支援します。(最大300万円)

■家賃支援事業

本市に移住・定住しようとするUターン者(若者・子育て世帯)の家賃を支援します。(最大5千円×12ヶ月)

■だいせん暮らし応援給付金

要件を満たす県外から移住する方に対し5万円を給付金します。

■おかえり大仙Uターン給付金

親と同居するUターン者に対し最大15万円を給付します。
※Uターン者：大仙市の小学校を卒業し、市外に5年以上住んだ後、大仙市に戻ってきた方

移住体験してみよう！

■魅力体験住宅「yukoso」

本市への移住を検討している方が生活体験を行う際の宿泊拠点としてお使いいただけます。

■移住体験応援事業

本市への移住を検討している方に、市内での移住体験(農業・文化体験、地元住民との交流等)に要する費用を支援します。(世帯5万円・単身3万円)



[みさとちょう]

美郷町

清水の郷として知られる
のどかなまち

日本名水百選のひとつに選ばれた「六郷湧水群」や、初夏を彩る町の花「ラベンダー」といった自然が豊かで、国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」など、四季を通じて魅力があふれています。

住んでる方に聞きました！

湧水の恵みと
癒しの香りに包まれた町暮らし

湧水が生活用水になっている地域に暮らしており、水の豊かさを日々堪能しています。東北随一のラベンダー園で香りに癒され、町内の買い物もニーズにマッチしていて、ゆったりした生活ができます。大仙、横手、仙北などの近隣各市へのアクセスも良くて便利です。



地域おこし協力隊
移住コンシェルジュ
梶原 恵美子さん



DATA

人口：16,933人
医療機関数：6施設
就学前施設数：3施設
夏の平均気温：24.7℃
冬の平均気温：-0.3℃
降雪量：475cm

移住者支援制度

■美郷暮らし促進奨励金

定住のための300万円以上の住宅の整備(新築・購入・リフォーム等)を行った場合、奨励金を交付します。

■美郷町起業家総合支援事業補助金

新たに美郷町で起業される方に、事業所開設に要する経費の1/2(最大200万円まで)を助成します。

移住体験してみよう！

○美郷町を移住先の選択肢としてお考えの方に、お試し移住体験にかかる交通費や宿泊費を助成します。さまざまな「美郷暮らし」体験コースの中から好きなコース、スポットを選べます。

■農業体験コース

■雪国体験コース

■先輩移住者交流コース

■オーダーメイド型コース

■空き地・空き家視察コース

※コース一例



左記のコースを参考に申請者独自でコースを設定することも可能です。

お問い合わせ先 大仙市 企画部 移住定住促進課

連絡先：☎ 0187-63-1111 Email: iju@city.daisen.lg.jp

HP: https://www.city.daisen.lg.jp/genre/promotion/p-immigration

公式サイト /



お問い合わせ先 美郷町 商工観光交流課

連絡先：☎ 0187-84-4909 Email: kanko@town.misato.akita.jp

HP: https://www.town.misato.akita.jp

公式サイト /





【よこてし】

横手市

豊かな食、伝統に多彩な ヒトが集まるまち

果物、お米、野菜、発酵文化などの豊富な食や、増田の町並みなどの伝統が残り、豊かな暮らしができる「素材」がいっぱいです。恵まれた自然と教育環境の中で、子どもはのびのびと、子どもらしい時間を過ごしています。

住んでる方に聞きました！

伝統と自然と人が調和する ワクワクが溢れ出すまち横手市

伝統的な祭り以外にもイベントが多いので、休日は充実しています。個人で活躍している、しようとしている若者も目立ち、ワクワクできるところも魅力です。移住者交流会も企画していますので、気軽にご相談ください！



移住コーディネーター
吉成さん



DATA

人口：78,175人 夏の平均気温：22.6℃
医療機関数：120施設 冬の平均気温：-0.3℃
就学前施設数：38施設 降雪量：526cm

移住者支援制度

■ 移住コーディネーターがあなたの移住をサポート

お仕事や住まい探し、移住に伴う不安やお悩みに横手市移住コーディネーターがお手伝いいたします。また、移住情報の発信やイベント開催も行っておりますのでぜひお気軽にご相談・ご参加ください！

■ UIJ ターン・起業をサポートします

横手市で就職を考える方へ、横手の就職情報・起業情報を集約した「横手JOBナビ」をご活用ください。企業の情報もわかるので、求人情報より一歩踏み込んだ情報が見つかります！

■ 充実した横手の出産・子育て環境と 雪国暮らしを支える支援制度

子どもの保育料完全無償や副食費助成、18歳までの医療費無料（マル福）のほか、児童センターなど子育て施設も充実しています。横手市若年世帯住まい応援事業補助金（29歳までの夫婦の住宅取得やリフォームへの助成）や雪国よこて安全安心住宅普及促進事業（雪対策のための改修工事などへの助成）など、暮らしの助成金もご活用ください。

移住体験してみよう！

■ 横手暮らし体験事業

横手市への移住を検討している方などを対象に、横手市内での生活体験ができる対象施設の使用料の一部を支援します。

公式note /



お問い合わせ先 横手市 まちづくり推進部 横手の未来とものにつくる課

連絡先： ☎ 0182-35-2266

Email： miratomo@city.yokote.lg.jp

HP： https://www.city.yokote.lg.jp

公式サイト /



【ゆざわし】

湯沢市

のびのび子育てできる ゆざわのまち

自然・温泉・伝統文化などが息づく、暮らしやすいまちです。保育料や医療費の助成、移住者向け住宅支援など、子育て世帯にもやさしい制度が充実しています。地域の人のあたたかさ、ちょっとした暮らしのリズムが心地よく寄り添います。

住んでる方に聞きました！

充実した支援で 子育てしやすいまち

保育料等の無償化に加え、11月には遊び場併設の複合施設「ゆいなす」が誕生！冬の雪や熊の心配などで外遊びが難しい日も、天候や環境を気にせず安全に遊ばせられる屋内拠点から楽しみます。



湯沢市まちづくり協働課
移住コーディネーター
佐藤さん



DATA

人口：38,217人 夏の平均気温：22.1℃
医療機関数：26施設 冬の平均気温：-0.5℃
就学前施設数：11施設 降雪量：436.8cm

移住者支援制度

■ 移住支援制度

- 湯沢市空き家改修事業補助金
空き家バンクに登録された空き家を利用して市外から移住し、定住しようとする方を支援するため、空き家の改修に係る経費の一部を助成します。
- 湯沢市若者世帯住宅取得費用補助金
本市への移住・定住を促進するため、若者夫婦世帯の新築住宅建築・購入費用の一部を助成します。
（基本額：100万円、子育て世帯加算：20万円、移住世帯加算：20万円）

■ 結婚から妊娠、出産までのサポート制度

- 結婚生活スタート応援
住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用等を一部助成します。
- 妊産婦に対する医療費助成
妊産婦の医療費自己負担分を母子手帳交付月から子どもが1歳を迎えるまで全額助成します。

■ 子育て支援制度

- 子どもの保育料完全無償化
- 学校給食費無償化
- 0歳から18歳到達年度末までの子どもの医療費全額助成
- 放課後児童クラブの利用料無償化

お問い合わせ先 湯沢市 まちづくり協働課 交流・未来づくり推進班

連絡先： ☎ 0183-56-8386

Email： mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

HP： https://www.city-yuzawa.jp/site/iju-teiju/

公式サイト /





【うごまち】

羽後町

豊かな自然と 伝統芸能が息づくまち

優雅で妖艶な雰囲気が魅力の「西馬音内盆踊り」は、日本三大盆踊りのひとつと称されます。茅葺民家や稲架掛けなど昔懐かしい田園風景が残るまちでもあり、緑豊かな自然環境の中で、全国の市場でも評価の高いおいしい食材を味わえます。

住んでる方に聞きました！

365日違う景色を見れる町、 羽後町

引っ越して数ヶ月、毎日違う景色に驚かされます。一面の田園や新緑の山、夏の西馬音内盆踊り。ここ羽後町には四季だけでは数え切れない365の景色があるようです。歴史に裏付けされた味わい深いこの町を、これからももっと楽しみたいと思います。



一般社団法人 KAMAITACHI
小林さん



DATA

- 人口：12,632人
- 夏の平均気温：22.1℃
- 医療機関数：8施設
- 冬の平均気温：-0.5℃
- 就学前施設数：5施設
- 降雪量：543cm



移住者支援制度

- 県外転入者世帯が住宅を取得した場合、最大100万円の住宅取得奨励金を助成します。
- 県外転入者世帯に最大20万円の住宅リフォーム費用を助成します。
- 18歳まで医療費が無料です。
- 県外から移住し町内企業に就職した方へ就職応援給付金を支給します。

移住体験してみよう！

■ 体験住宅

羽後町体験住宅：オール電化でWi-Fi完備の一軒家を丸ごと借り切って移住体験ができます。3泊4日～13泊14日で利用可能。



■ 移住体験ツアー

利用者の希望に沿ったオーダーメイド型移住体験ツアーを開催しています。

お問い合わせ先 羽後町 みらい産業交流課

連絡先：☎ 0183-62-2111(内線224) Email: kanko@town.ugo.lg.jp

HP: https://www.town.ugo.lg.jp/

公式サイト /



【ひがしなるせむら】

東成瀬村

自然豊かな仙人の郷 日本で最も美しい村

栗駒山の麓、山々に抱えられた自然豊かな村です。「日本で最も美しい村」連合に加盟している本村では、満天の星を眺めることができます。四季折々の風景の変化が楽しめる生活をしてみませんか。

住んでる方に聞きました！

自然とイベントに癒される 村での休日の楽しみ方

移住して4年目になります。昨年子どもが生まれたため、会社のメンバー以外にもパママ友達ができました。夏はBBQ、冬はスノーボード等をして楽しんでいます。他には、各地区や全村でお祭りも開催されるので、日々楽しく過ごしています。



東成瀬テックソリューションズ
株式会社
高橋さん



DATA

- 人口：2,167人
- 夏の平均気温：22.1℃
- 医療機関数：2施設
- 冬の平均気温：-0.5℃
- 就学前施設数：1施設
- 降雪量：585.7cm



移住者支援制度

■ 東成瀬村空き家リフォーム

村内の空き家を購入した物件の改修等に要した費用の2分の1以内の額(上限100万円)を交付します。

■ 移住定住奨励金

移住してから1年以上定住された方に、1人あたり5万円を上限に商品券を交付します。

移住体験してみよう！

■ 移住体験ツアー

村への移住を検討している方を対象に「移住体験ツアー」を実施。実際に村を訪れ、自然豊かな環境や地域の暮らしを体感していただくとともに、先輩移住者や地域住民との交流を通して、東成瀬村での生活をより具体的にイメージしていただくことを目的とした完全オーダーメイド型ツアーです。

■ 移住体験住宅

移住を検討されている方を対象に、一定期間滞在できる移住体験住宅。2LDKの広々とした住宅でご家族でも安心して滞在していただけます。



お問い合わせ先 東成瀬村 企画課

連絡先：☎ 0182-47-3402 Email: kikaku-h@vill.higashinaruse.akita.jp

HP: https://vill.higashinaruse.lg.jp

公式サイト /



秋田で働く

働く

県外にいながら秋田での就職先を探す方法がわからないという方に、秋田県内への就職に向けたサポートをご紹介します。

求人情報掲載サイト

あきたジョブ

移住支援金制度の対象求人を含む魅力的な求人情報を多数掲載しています。地域や職種、こだわりの条件からあなたにぴったりの「しごと」を探すことができます。

詳細はこちら



連絡先

秋田県人口戦略部 移住・定住促進課 移住促進チーム

場所：〒010-8570 秋田市山王4-1-1 県庁本庁舎5階 連絡先：☎ 018-860-1234

首都圏総合相談窓口 アキタコアベース 首都圏にお住まいの方必見！

秋田県へ移住を希望される方や学生向けに、専門のサポーターがあなたの仕事探しや移住をバックアップ！

詳しくはP50へ

事業サポート

起業

企画・構想から事業化までをサポート

事業計画へのアドバイスや、補助金の紹介、創業支援室のご案内のほか、起業家の交流イベントも開催しています。

連絡先

公益財団法人 あきた企業活性化センター

場所：〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階

連絡先：☎ 018-860-5610 HP：https://www.bic-akita.or.jp/

詳細はこちら



商工会議所・商工会ならではの手厚い支援

商工業の振興発展に努めてきた商工団体としての強みを活かし、夢やアイデアの実現・事業化をプラン作成からトータルサポートしています。

連絡先

起業する地域の商工会議所・商工会

詳細はこちら



事業承継

起業希望者と後継者不在の事業者をマッチング！

秋田県後継者人材バンクでは、起業希望者と後継者不在の会社や事業主を引き合わせ、事業引継ぎの実現に向けた支援を行います。

連絡先

秋田商工会議所 秋田県事業承継・引継ぎ支援センター

連絡先：☎ 018-883-3551 HP：https://akita-hikitsugi.go.jp/

詳細はこちら



就農したい人集まれ！



農業を始めるには、技術・資金・農地など多くの準備が必要です。秋田県では、就農希望者を多様な制度で支援しています。制度を活用して、自分に合った就農スタイルを見つけましょう。

まずは情報集めから！



秋田県農業経営・就農支援センター

相談窓口

連絡先

公益社団法人 秋田県農業公社

相談日：月曜～金曜（祝日は除く） 場所：〒010-0951 秋田市山王4丁目1-2

連絡先：☎ 018-893-6212 HP：https://akita-agri-navi.com



秋田就農情報発信サイト

あきたで農業するべ！
秋田就農ナビ

詳細はこちら



体験してみよう

就農準備基礎講座

就農希望者に向けて、農業に必要な基礎知識や就農情報（病虫害防除、土づくり、農業簿記など）に関する講座を開催しています。

秋田型農業インターンシップ

県内の希望する農業経営体において2～5日間のインターンシップに参加できます。

研修品目

えだまめ／ねぎ／米／大豆
菌床しいたけ／りんご など



自分が目指す就農スタイルを検討しよう！



農業法人に就職 雇用就農

農業法人*などに従業員として農業に従事します。採用については通常の会社とほぼ同様です。

*農業法人とは法人形態で農業を行う組織を指し、家族のみで営む小規模法人から多くの従業員を雇い入れる大規模法人まで様々です。独立就農のように自己資金や営農基盤を個人で準備する必要がありません。

① 就職先の農業法人を探す

民間の農業求人サイトやハローワークなどの求人票のほか、秋田就農ナビを参考に希望に合う法人を探しましょう。

② 農業法人を体験する

インターンシップやトライアル雇用（3ヶ月以内）を活用し、農業法人の経営理念や雇用環境を確認しましょう。

③ 就職してからの技術習得や独立も可能！

農業未経験でも仕事を通じて技術を習得できます。身につけたスキルで独立就農を目指すことも可能です。

自分で農業経営 独立就農

新たに農業経営を開始しようとする新規参入者は、農地や農業用機械などの営農基盤を持たないため、就農するための自己資金が必要です。また、農業技術や農業経営のノウハウの習得も必要になるため、就農先の自治体のサポートや研修制度を活用しましょう。

研修制度

■ 秋田アグリフロンティア育成研修

秋田県の研究機関等で行う研修で、営農に必要な経営・生産技術を習得できます。（就農時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年）

■ 地域で学べ！農業技術研修

市町村の農業研修施設などで、農業技術や経営管理能力の向上を目指します。（就農時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年以内）

就農後の経済的支援

■ 経営開始資金

経営をはじめて間もない時期の、経営確立を支援する資金を交付します。（要件あり）



このほか、県や市町村等の関係機関による地域の「就農定着支援チーム」が、継続的にサポートします。

さらに詳しく知りたい方は秋田就農情報発信サイト「秋田就農ナビ」をご確認ください。

林業・漁業もサポート

自然豊かな秋田では、「山で働きたい」「漁業に従事したい」方も多方面からサポートしています。
未経験の方も、まずは情報収集から始めて就業への第一歩を踏み出ませんか？

林業

詳細はこちら



全国トップクラスの森林資源を誇る秋田では、林業会社や森林組合で活躍したい方の就業を応援します！

林業の就業相談窓口

あきた森の仕事ナビ

連絡先

公益財団法人 秋田県林業労働対策基金
(秋田県林業労働力確保支援センター)

連絡先：☎ 018-864-0161

HP：https://akita-no-mori.com



研修

秋田林業大学校

2年間の研修で、現場で活かせる知識・技術を習得し、
将来の秋田県の林業を担う若い技術者を育成します。
(入校年度4月1日時点で42歳未満の方)

1年目 基礎力の習得

- ・基礎的な知識と技術
- ・林業機械の基本操作
- ・事業管理の基礎知識

2年目 実践力の習得

- ・長期間のインターンシップ
- ・林業機械の総合操作技術
- ・マネジメント能力

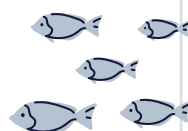
知識・技術・資格を
活かして就職へ

連絡先

秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室

連絡先：☎ 018-882-4512

漁業



研修

あきた漁業スクール

漁業の基礎から実践までを現場で学べる各種
研修を実施しており、漁業者の確保・育成に
取り組んでいます。

14日間程度 トライアル研修

本県漁業に興味を持つ方を対象に、
短期の基礎的研修を実施します。

2年 独立型・雇用型研修

- ・漁業就業を目指す方への、
ベテラン漁業者による実践的な技術研修です。
- ・研修に必要な費用について助成を行います。

■お問い合わせ 就業相談のほか、詳細な研修の内容や必要な手続きについてもご案内します。

連絡先

秋田県漁業協同組合

連絡先：☎ 018-845-1311

秋田県農林水産部 水産漁港課

連絡先：☎ 018-860-1885

地域おこし協力隊になる

都市部からの移住者の活躍の場として年々注目度が上昇！
あなたのスキルや経験を生かして、地域を盛り上げてみませんか？



地域おこし協力隊とは？

地方自治体が都市部から移住してきた方を「地域おこし協力隊」として任命し、
地域で必要とされるさまざまな活動を行ってもらうことで、地域の活性化を図る
取り組みです。任期は最大で3年間、待遇は自治体によって異なります。

市町村の募集状況や特集記事はこちら ▶

詳細はこちら



こんな人に
おすすめ！

- ・地方で暮らしたい
- ・スキルや経験を地域で役立てたい
- ・地域のことを深く知りたい
- ・人とのつながりを生かす働き方がしたい

情報収集・応募

移住する地域の
応募条件をチェック！
公益社団法人ふるさと回帰・移住
交流推進機構の募集ページからも
検索できます！

活動期間

採用後活動地域に移住し、
条件達成に向け活動開始！
・地域コミュニティ活動
・観光資源の発掘や PR
・地域産業の振興 など

任期終了後

任期後も各地域に定住し、活躍
している先輩がたくさんいます！
・協力隊の経験を活かした起業
・地元企業へ就職
・地域おこし活動を継続

先輩協力隊等で構成される「一般財団法人 あきた地域おこし協力隊ネットワーク」では、
協力隊同士のつながり作りや相談対応、活動の情報発信など、
現役協力隊のサポートを行っています。

秋田県のサポート体制や、
協力隊の活動状況はこちら ▶

詳細はこちら



今注目を集めています！

関係人口としてつながる

その地域でしかできない体験や、地元の人と関わる学びや挑戦、
地域をフィールドにした夢の実現も！

関係人口とは？

その地域に定住はしていないが、継続的に関心を持ち、
多様な形で地域とかわり続ける人々を指します。

秋田とつながりを持ちながら、
地域の力になってみませんか？



あきた関係人口会議 Web サイト

あきコネ

詳細はこちら



連絡先

秋田県人口戦略部 地域づくり推進課

連絡先：☎ 018-860-1215

相談窓口へ行く

秋田での暮らしや交流に関心がある人に向けて、首都圏で移住・就職の相談対応や各種交流イベントなどを開催しています。「秋田で暮らしたい」「秋田とつながりたい」そんな方々が、気軽に立ち寄り集うことのできる窓口です。



秋田で「暮らす」「働く」、秋田と「つながる」首都圏総合窓口



移住・就職のワンストップ相談が可能！

移住相談

自然環境、風土、教育・子育て環境などの情報や、各種移住支援制度の紹介はもちろん、一人ひとりのお悩み事に合わせたサポートを市町村等と連携して行います。

就職相談

希望の職種・地域などをヒアリングし、就職活動や県内企業の求人とのマッチングをサポートするほか、履歴書・職務経歴書の添削や面接のアドバイスも行います。

学生相談

県内就職へのアドバイス、具体的な採用情報の提供のほか、エントリーシートの書き方や面接対応のポイントなどの相談もお受けします。保護者の方の相談も承ります。

秋田への移住に関する疑問やお悩みに、対面・電話・メール・オンラインで丁寧にお答えします。



NEW OPEN!
アキタコアベース
秋田オフィス

令和8年4月には、新たに「秋田オフィス」をアトリオン5階に開設。一人ひとりの希望に合った「秋田暮らし」に向けてより強力に支援していきます！
連絡先：☎ 0800-222-3029 Email: coabase-akita@a-iju.jp

お問い合わせ先 アキタコアベース 東京オフィス
(秋田県あきた暮らし・交流拠点センター)

Webサイトはこちら



移住・就職相談窓口



【代表】☎ 03-3528-6567 【相談受付】フリーダイヤル：☎ 0120-122-255

開館時間：10:00-18:00 Email: coabase@a-iju.jp

休館日：毎週火曜日／12月29日～1月3日 ※その他臨時休館あり

場所：東京都中央区京橋2丁目6番13号 京橋ヨツギビル1階

アクセス：JR 東京駅 徒歩7分（八重洲地下街24番出口）・東京メトロ銀座線 京橋駅 徒歩2分（4番・6番出口）
・都営地下鉄浅草線 宝町駅 徒歩2分（A5・A6・A7出口）

イベントに参加する

秋田県では、就職や移住に関するイベントを開催しています。東京での開催のほか、お正月やお盆の帰省時期には秋田でも開催！お一人でも、家族連れでもお気軽にお越しください。

秋田とつながるイベント



首都圏開催

県内企業が多数集結し、採用担当者と直接話ができる

あきた就職フェア



秋田開催

秋田県内企業への就職に関心がある方（学生含む）を対象に、企業との面談や市町村・団体への相談を受け付けています。

アキタコアベース
最新情報はこちら



秋田が好きな人
秋田に興味がある人も
気軽に参加できます！

アキタコアベースでは、県内市町村と連携した移住相談会、移住者のリアルな話を聞くことができるトークイベント、関係人口の創出を図るイベントなどを開催しています。お気軽にご参加ください！

10/18
開催

秋田の「いいな」が大集合！
移住相談もお気軽にどうぞ！

AKITA GOOD LIFE FESTIVAL

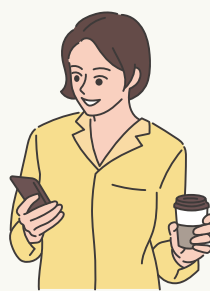


首都圏開催

秋田の魅力をたっぷり詰め込んだイベントを東京国際フォーラムで開催します。お気軽にお立ち寄りください。

イベント情報は
「秋田暮らしはじめの一步」で！
あきた A→KITA 登録

秋田県に県外から移住を希望する方が対象の登録制度です。
ご登録いただくと、各種イベントの情報やサポートを受け取れます！

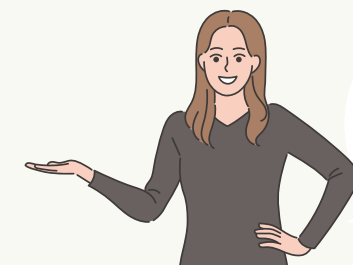


詳細はこちら



移住でよくある質問

Q1. 秋田県ってどんなところですか？



東北地方の北西部に位置しており、雄大な自然と、おいしいお米や日本酒に代表される豊かな食文化、そして「なまはげ」や「竿燈まつり」「かまくら」といった伝統文化が地域に根付いており、都会にはないゆったりとした時間と人の温かさに触れられる場所です。

Q2. 秋田への移住を漠然と考えているのですが、何から始めたら良いでしょうか？

「A→KITA 登録」(P51)をいただければ、相談員からご希望に合った情報をお送りします。
また、県や市町村・関係団体が開催するイベントやお試し移住体験等を活用して情報収集をして頂くのも良いかと思います。



Q3. 秋田での就職について教えてください。

求人や企業情報は、相談窓口 (P50) やあきたジョブ (P46) で探せるほか、各種イベントで企業と直接話してリアルな情報を集めることもできます。

Q4. 雪はどのくらい降りますか？

地域によって積雪量は異なりますが、沿岸部は少なく、内陸部は多い傾向があります。スタッドレスタイヤ等の冬用のカー用品や除雪器具は必須アイテムです。(P12、13)

Q5. 最近クマの出没が増えているようですが、移住しても大丈夫でしょうか？



県では「人の生活圏における人身被害ゼロ」を最重要目標に掲げ、全県を挙げて対策を強化しています。出没情報のスマホ通知アプリ「クマダス」や、通学路の巡回・クマスプレー配付による子どもの安全確保など、一刻の猶予もない課題として徹底的な対策を進めています。

クマダス ▶



秋田県工科大学

県内の楽しい遊び場を紹介します！
お出かけ先に迷った時のヒントとして、ぜひご活用ください。

★遊び場施設

あきたで
出産・子育て
ガイドブック

県内の楽しいあそびの詳しい情報はこちら
(子育てガイドブックP23)



アクセス マップ

 空路

秋田には2つの空港があり、
東京・秋田間は、約1時間！

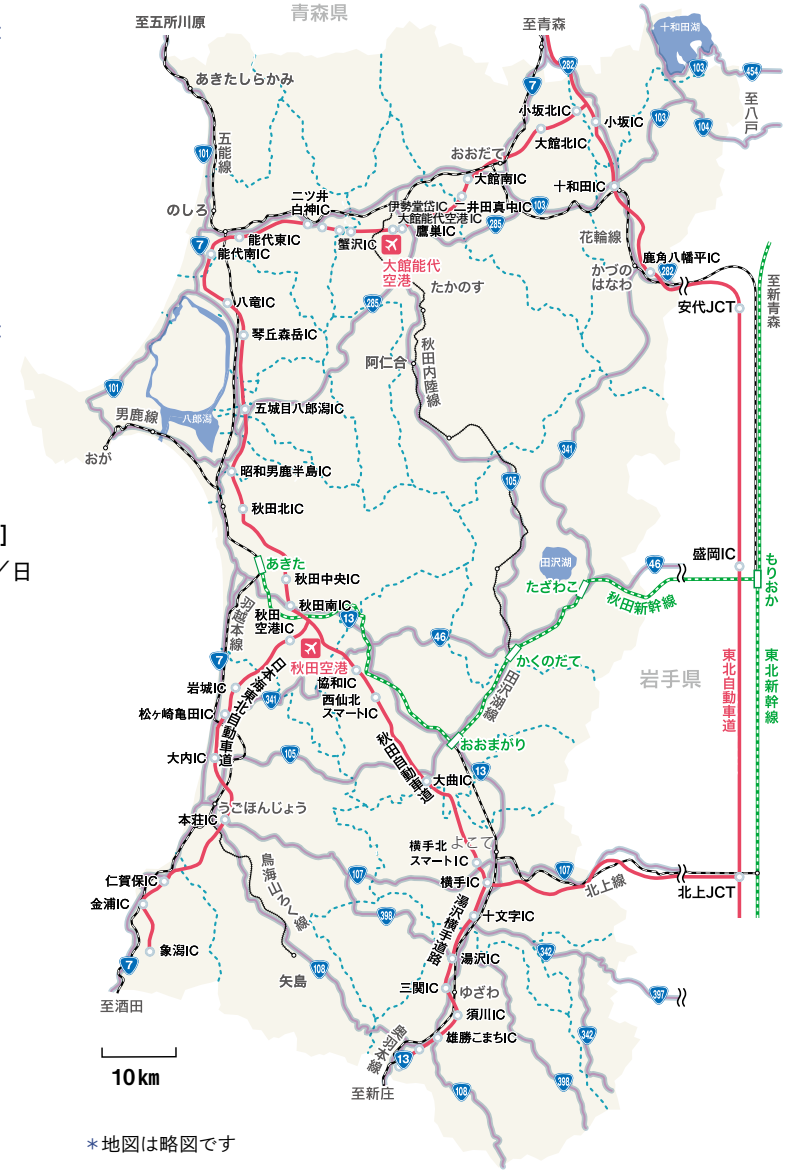
[秋田空港]		[大館能代空港]	
東京行	9便/日	東京行	3便/日
大阪行	6便/日		
名古屋行	2便/日		

 鉄道

秋田新幹線「こまち」は、
東京～秋田間を最速3時間37分で
結びます！

道路

高速道路が整備され、
周辺地域への移動が快適！
県内に2つある空港には、
どの都市からでもアクセスしやすい！



県外から		県内から	
東京・秋田	飛行機の場合 羽田空港～秋田空港 所要時間／約 1 時間 5 分 羽田空港～大館能代空港 所要時間／約 1 時間 10 分	新幹線の場合 東京駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／最速 3 時間 37 分	車の場合 東京都内～秋田中央 IC (東北自動車道・秋田自動車道経由) 所要時間／約 7 時間 30 分
	新幹線の場合 仙台駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／最速 2 時間 5 分	車の場合 仙台宮城 IC～秋田中央 IC (東北自動車道・秋田自動車道経由) 所要時間／約 2 時間 58 分	車の場合 秋田中央 IC～横手 IC 所要時間／秋田自動車道で約 50 分 距離／ 63.1km 秋田中央 IC～大館南 IC 所要時間／秋田自動車道と 国道 7 号線経由で約 1 時間 30 分 距離／ 111km 秋田中央 IC～本荘 IC 所要時間／秋田自動車道経由 日本海東北自動車道で約 40 分 距離／ 50.3km
	飛行機の場合 中部国際空港 セントレア ～秋田空港 所要時間／約 1 時間 20 分	新幹線の場合 名古屋駅～東京駅 (東海道新幹線) 東京駅～秋田駅 (秋田新幹線『こまち』) 所要時間／約 4 時間 15 分	飛行機の場合 伊丹空港～秋田空港 所要時間／約 1 時間 20 分
愛知・秋田		大阪・秋田	※車による所要時間は、走行速度や 道路渋滞によって異なります。



Instagram



X



Facebook



LINE



Web site

